
早島町社会福祉協議会

『はやしまほっとプラン2(第2次早島町
地域福祉活動計画)』策定に係る早島町の
福祉活動に関するアンケート調査

報 告 書

令和2年 10 月

目次

1 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査の期間	1
5. 回収結果	1
6. 報告書の見方	1
2 調査結果	2
回答者の属性	2
1. ご記入者ご自身について	4
2. 地区内の近所づきあいや地区の状況について	6
3. ご自身やご家族の困りごと、福祉活動の進め方について	22
4. 早島町全体の福祉や社会福祉協議会、「ほっとプラン」について	45
5. 自由回答	61

1 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、町民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、『はやしまほっとプラン2（第2次早島町地域福祉活動計画）』見直しの基礎資料とするため実施しました。

2. 調査の対象

対象者	早島町全域の20歳以上の町民から無作為抽出	1,000件
	福祉活動員	79件

3. 調査の方法

福祉活動員による配布、郵送回収。

4. 調査の期間

令和2年10月1日～10月14日まで。

5. 回収結果

有効回収数	450件
有効回収率	41.7%

6. 報告書の見方

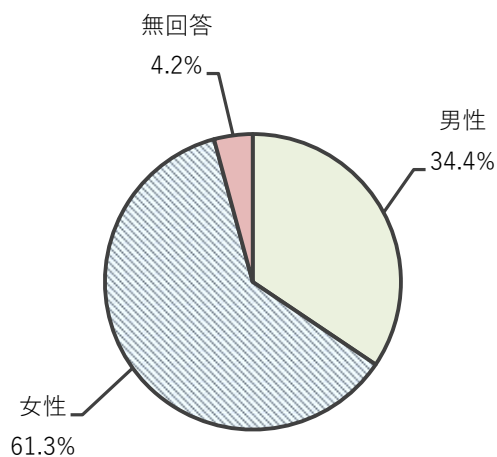
- 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率は、すべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

2 調査結果

回答者の属性

[性別]

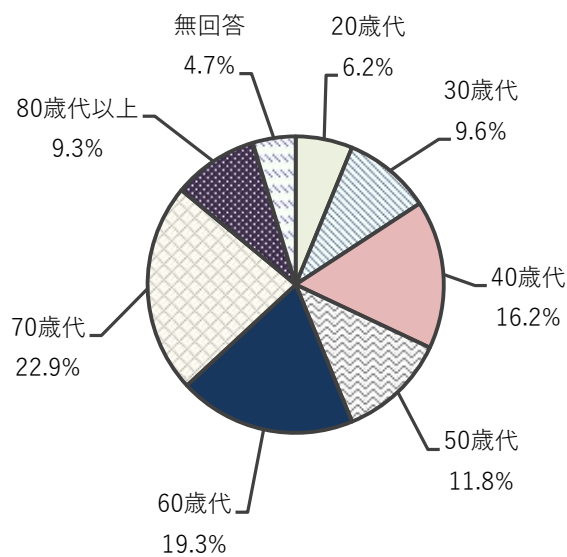
●性別をたずねたところ、「男性」と回答した人の割合は34.4%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は61.3%となっています。



(n=450)

[年代]

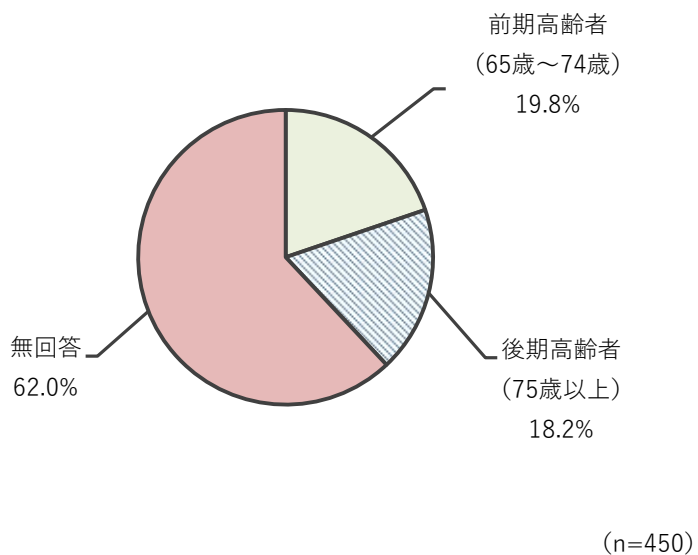
●年代をたずねたところ、「70歳代」と回答した人の割合が最も高く、22.9%となっています。次いで、「60歳代」(19.3%)、「40歳代」(16.2%)と続いています。



(n=450)

[高齢者の方はいずれかに○]

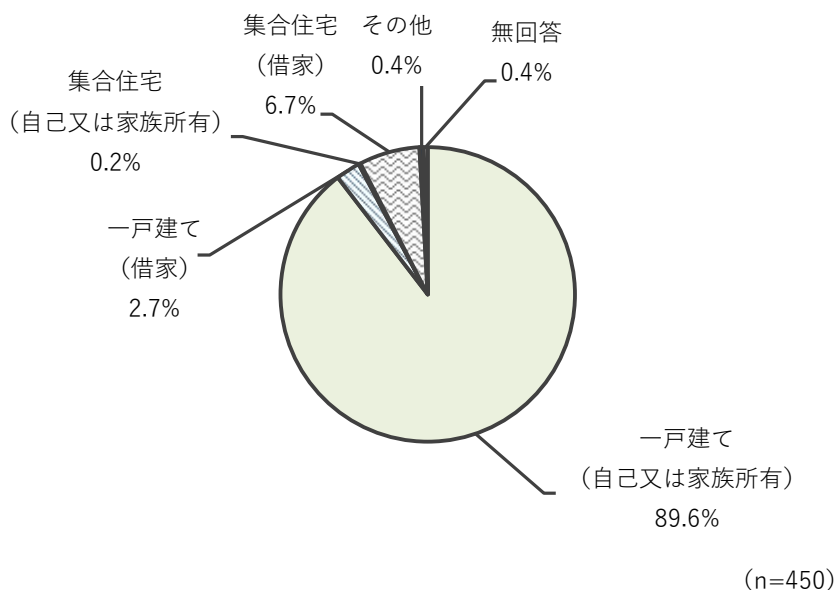
●高齢者の方に前期高齢者か後期高齢者かをたずねたところ、「前期高齢者（65歳～74歳）」と回答した人の割合は19.8%となっています。一方、「後期高齢者（75歳以上）」と回答した人の割合は18.2%となっています。



1. ご記入者ご自身について

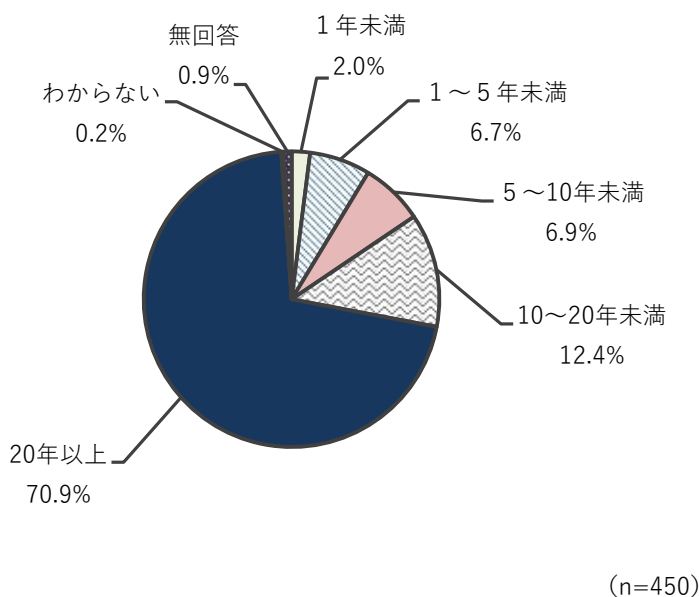
問1 あなたがお住まいの住居について教えてください。〈1つに〇〉

●お住まいの住居についてたずねたところ、「一戸建て（自己又は家族所有）」と回答した人の割合が最も高く、89.6%となっています。次いで、「集合住宅（借家）」（6.7%）、「一戸建て（借家）」（2.7%）と続いています。



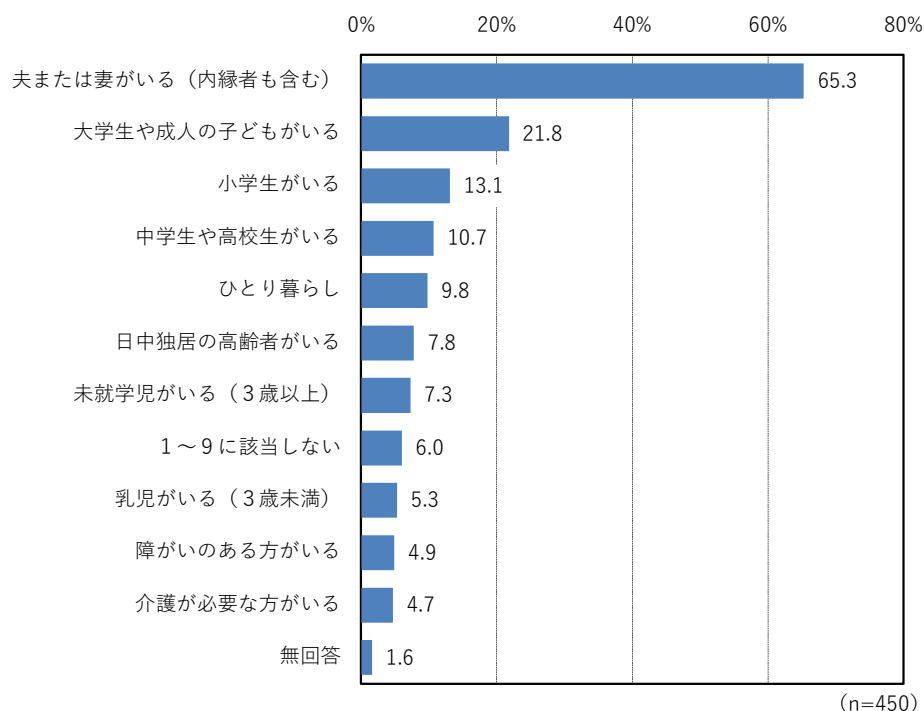
問2 あなたは、町内に何年お住まいですか。〈1つに〇〉

●あなたは、町内に何年お住まいですかとたずねたところ、「20年以上」と回答した人の割合が最も高く、70.9%となっています。次いで、「10～20年未満」（12.4%）、「5～10年未満」（6.9%）と続いています。



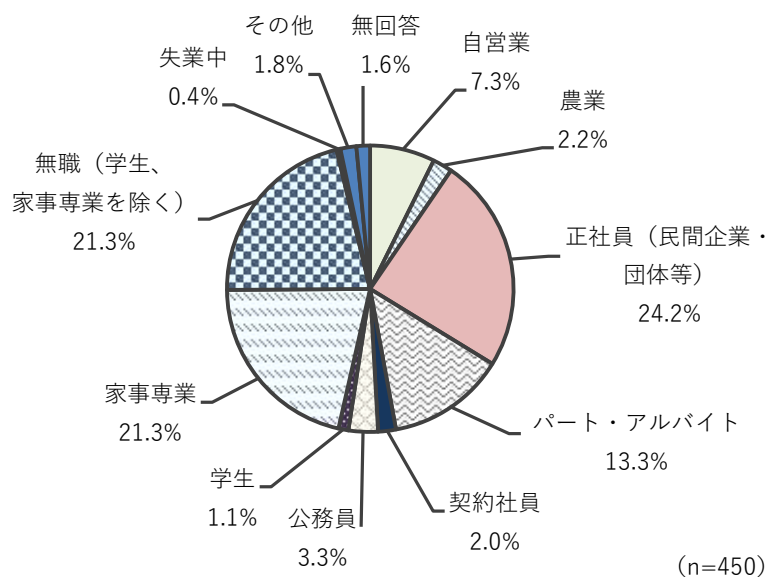
問3 あなたと一緒に暮らしているご家族を教えてください。〈該当する項目すべてに○〉

●一緒に暮らしているご家族についてたずねたところ、「夫または妻がいる（内縁者も含む）」と回答した人の割合が最も高く、65.3%となっています。次いで、「大学生や成人の子どもがいる」（21.8%）、「小学生がいる」（13.1%）と続いています。



問4 あなたの主な職業を教えてください。〈1つに○〉

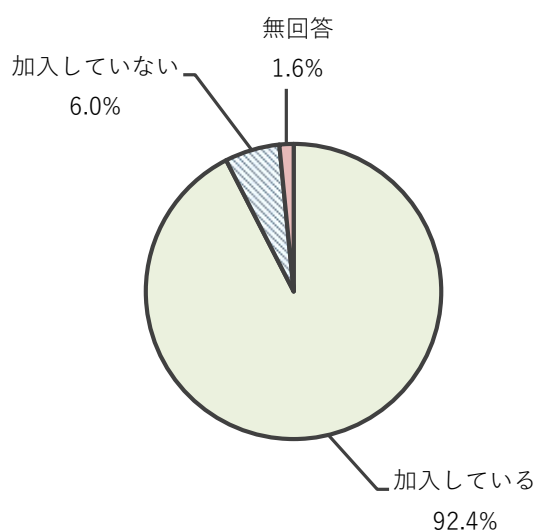
●あなたの主な職業を教えてくださいとたずねたところ、「正社員（民間企業・団体等）」と回答した人の割合が最も高く、24.2%となっています。次いで、「家事専業」「無職（学生、家事専業を除く）」（共に21.3%）、「パート・アルバイト」（13.3%）と続いています。



2. 地区内の近所づきあいや地区の状況について

問5 あなたやご家族は、自治会（町内会）へ加入されていますか。〈1つに〇〉

- あなたやご家族は、自治会（町内会）へ加入されていますかとたずねたところ、「加入している」と回答した人の割合は92.4%となっています。一方、「加入していない」と回答した人の割合は6.0%となっています。
- 年代別にみると、50歳代以上では加入率が概ね10割に近くなっていますが、年代が低くなるにつれて加入率は低くなっています。住居形態別にみると、「一戸建て（自己又は家族所有）」にお住まいの人の加入率は、それ以外に比べ、約1.6倍となっています。



(n=450)

自治会への加入状況（年代別・住居形態別）

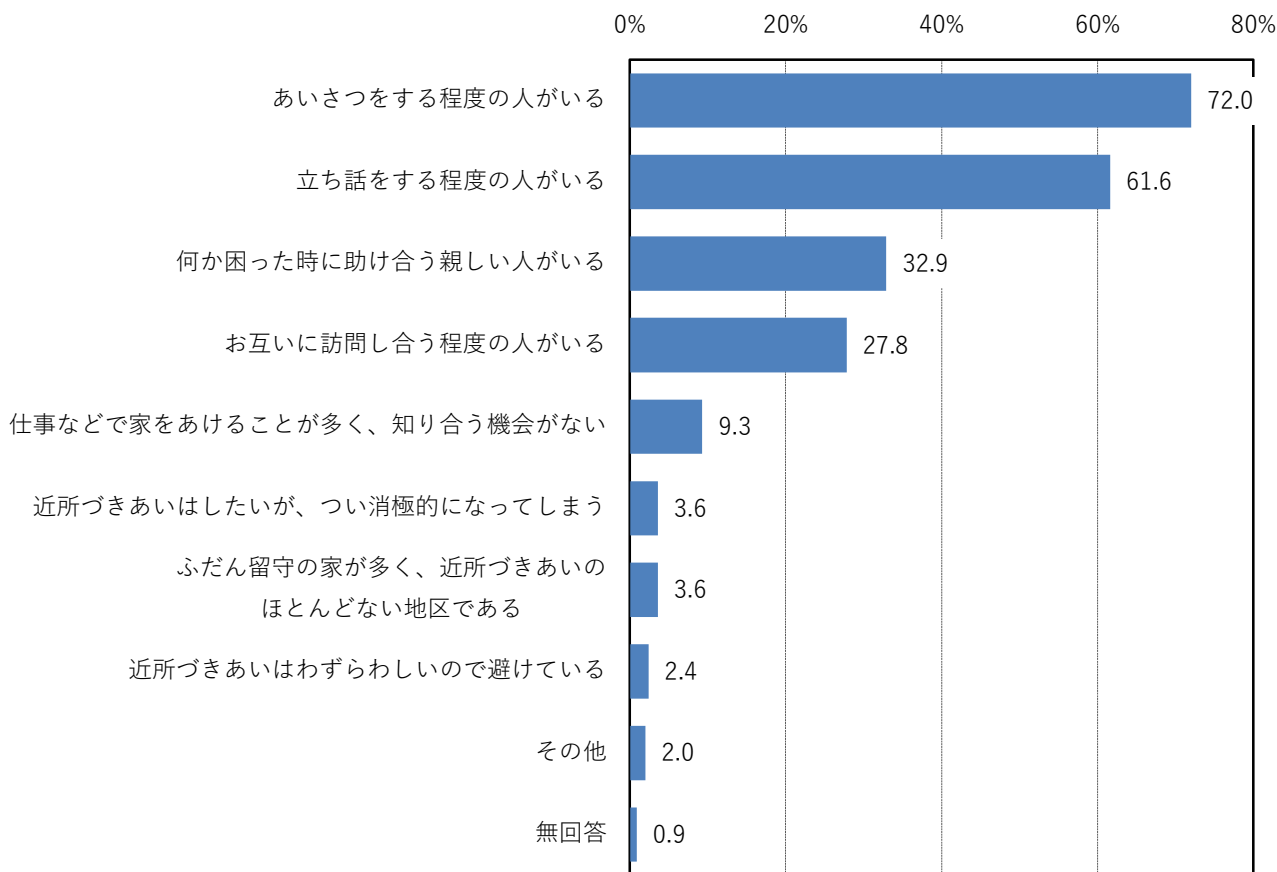
(単位：%)

		加入している	加入していない	無回答
年代別	20歳代(n=28)	78.6	17.9	3.6
	30歳代(n=43)	81.4	11.6	7.0
	40歳代(n=73)	89.0	9.6	1.4
	50歳代(n=53)	98.1	1.9	-
	60歳代(n=87)	98.9	1.1	-
	70歳代(n=103)	95.1	4.9	-
	80歳代以上(n=42)	97.6	2.4	-
住居形態別	一戸建て（自己又は家族所有） (n=403)	96.3	2.2	1.5
	一戸建て（自己又は家族所有）以外 (n=45)	60.0	40.0	-

問6 あなたは、普段ご近所の方（家族・親族を除く）と、どの程度の「つきあい」をしていますか。

<該当する項目すべてに○>

- 普段ご近所の方（家族・親族を除く）と、どの程度の「つきあい」をしているかたずねたところ、「あいさつをする程度の人がある」と回答した人の割合が最も高く、72.0%となっています。次いで、「立ち話をする程度の人がある」（61.6%）、「何か困った時に助け合う親しい人がある」（32.9%）と続いています。
- 性別にみると、「何か困った時に助け合う親しい人がある」「お互いに訪問し合う程度の人がある」「立ち話をする程度の人がある」「あいさつをする程度の人がある」といった、ご近所とのつきあいに関する項目は、全て女性の方が高くなっています。また、女性の「何か困った時に助け合う親しい人がある」「お互いに訪問し合う程度の人がある」と回答した割合に大きな差は見られませんが、男性は「お互いに訪問し合う程度の人がある」と回答した割合が低くなっています。
- 年代別にみると、20歳代の「何か困った時に助け合う親しい人がある」「お互いに訪問し合う程度の人がある」「立ち話をする程度の人がある」と回答した人の割合が他の年代に比べ、低くなっています。また、20歳代、40歳代は「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」と回答した人の割合が高くなっています。



(n=450)

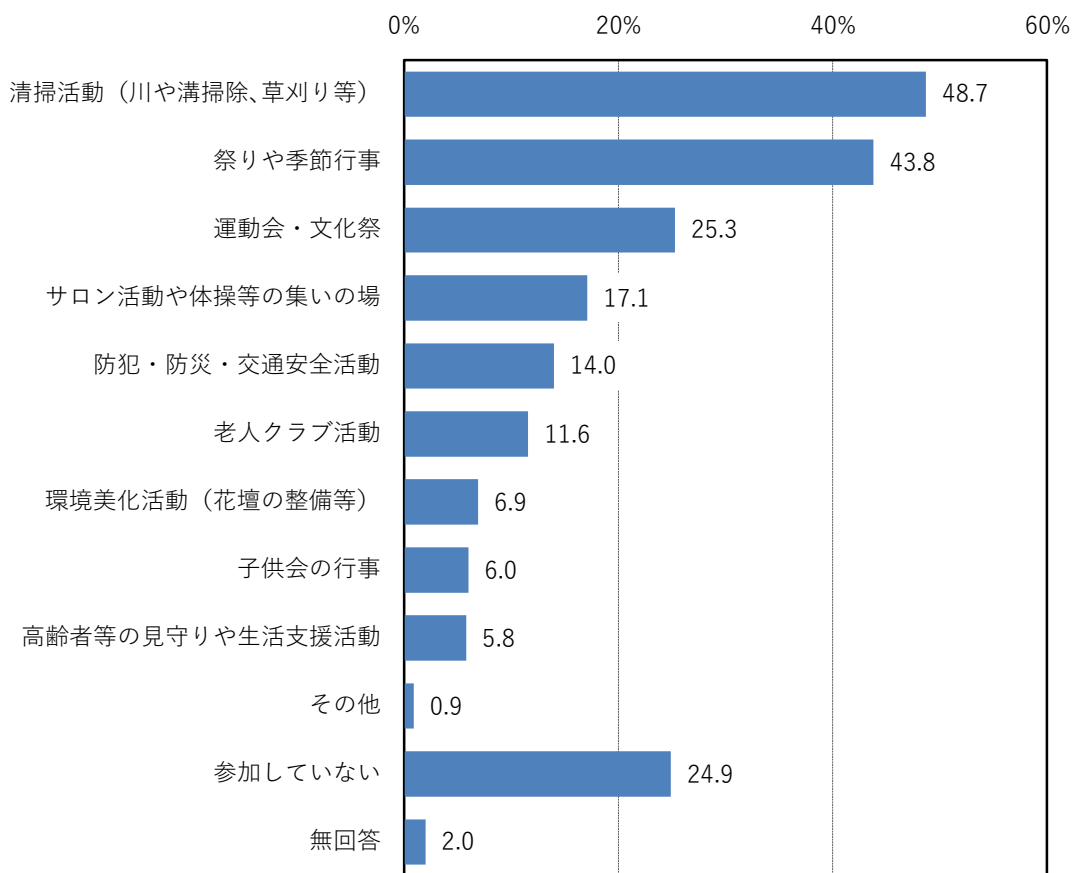
ご近所とのつきあいの程度（男女別・年代別）

（単位：％）

		親 しい 人が いる	何か 困っ た時 に助 け合 う	人が 互い に訪 問し 合う 程度 の	立ち 話を する 程度 の 人が いる	あ いさ つを する 程度 の 人が	多 く、 知 り合 う機 会が ない が	仕 事な どで 家 をあ ける こと が	近 所づ きあ いは わ ずら わ しい	近 所づ きあ いは し たい が、 つ い 消 極 的 に な っ て し ま う	近 所づ きあ いは ほ と ん ど ない	近 所づ きあ いは ほ と ん ど ない	ふ だ ん 留 守 の 家 が 多 く、	そ の 他	無 回 答
性 別	男性(n=155)	26.5	16.1	58.7	67.7	11.0	0.6	2.6	3.9	2.6	0.6				
	女性(n=276)	36.6	34.1	63.4	75.7	8.7	3.6	3.6	3.3	1.8	0.4				
年 代 別	20歳代(n=28)	7.1	3.6	10.7	67.9	28.6	10.7	-	3.6	7.1	-				
	30歳代(n=43)	20.9	14.0	46.5	83.7	11.6	2.3	4.7	9.3	2.3	-				
	40歳代(n=73)	20.5	20.5	57.5	79.5	23.3	2.7	5.5	4.1	5.5	-				
	50歳代(n=53)	30.2	24.5	64.2	77.4	11.3	-	5.7	3.8	-	-				
	60歳代(n=87)	34.5	32.2	77.0	86.2	4.6	2.3	1.1	1.1	-	-				
	70歳代(n=103)	47.6	41.7	69.9	56.3	1.9	1.9	3.9	1.0	-	1.9				
	80歳代以上(n=42)	47.6	33.3	61.9	59.5	-	2.4	2.4	7.1	4.8	-				

問7 あなたは、地区の活動や行事に参加していますか。〈該当する項目すべてに○〉

- 地区の活動や行事に参加しているかたずねたところ、「参加していない」(24.9%)「無回答」(2.0%)を除く73.1%の人が、何らかの活動や行事に参加していると回答しています。そのうち、「清掃活動(川や溝掃除、草刈り等)」と回答した人の割合が最も高く、48.7%となっています。次いで、「祭りや季節行事」(43.8%)、「運動会・文化祭」(25.3%)と続いています。
- 性別にみると、女性の「サロン活動や体操等の集いの場」と回答した人の割合が男性の約4倍となっています。一方、「祭りや季節行事」「防犯・防災・交通安全活動」と回答した割合は男性の方が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代の約9割が「参加していない」と回答しています。また、60歳代の「祭りや季節行事」と回答した人の割合が高くなっています。



(n=450)

地区の活動や行事への参加状況（男女別・年代別）

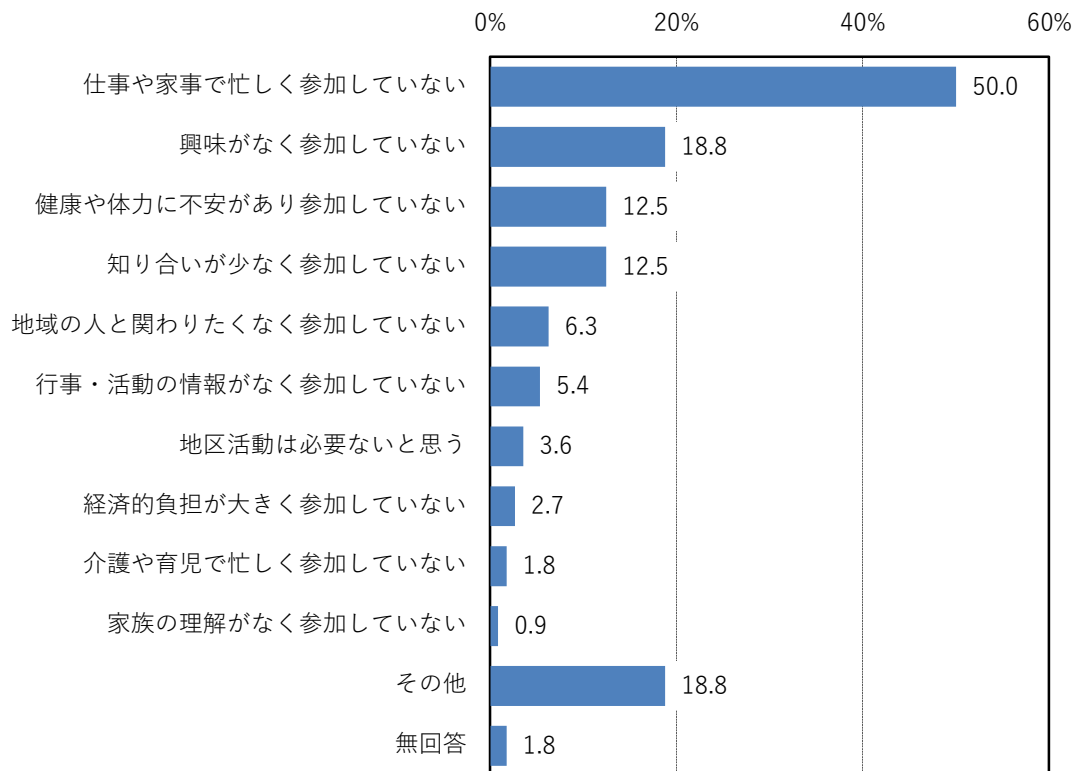
（単位：％）

		祭りや季節行事	運動会・文化祭	環境美化活動（花壇の整備等）	清掃活動（川や溝掃除、草刈り等）	サロン活動や体操等の集いの場	防犯・防災・交通安全活動	子供会の行事	高齢者等の見守りや生活支援活動	老人クラブ活動	その他	参加していない	無回答
性別	男性(n=155)	51.0	27.7	7.7	52.9	5.8	20.0	7.7	5.2	11.6	-	25.2	0.6
	女性(n=276)	40.9	24.6	6.9	47.1	23.2	10.5	5.4	6.5	12.0	1.4	25.4	1.1
年代別	20歳代(n=28)	7.1	-	-	3.6	-	-	3.6	-	-	-	89.3	-
	30歳代(n=43)	48.8	25.6	16.3	41.9	4.7	7.0	9.3	-	-	-	39.5	-
	40歳代(n=73)	47.9	27.4	1.4	43.8	4.1	9.6	17.8	1.4	1.4	-	28.8	-
	50歳代(n=53)	39.6	22.6	3.8	52.8	5.7	11.3	3.8	9.4	-	5.7	22.6	1.9
	60歳代(n=87)	62.1	40.2	6.9	63.2	26.4	16.1	3.4	10.3	10.3	-	9.2	1.1
	70歳代(n=103)	41.7	27.2	10.7	60.2	29.1	23.3	1.9	7.8	26.2	1.0	12.6	1.9
	80歳代以上(n=42)	33.3	9.5	7.1	35.7	28.6	14.3	4.8	4.8	31.0	-	28.6	2.4

【問7で「1. 参加していない」を選択した方に伺います】

問8 あなたが、地区の活動や行事に参加していない理由を教えてください。〈該当する項目に○〉

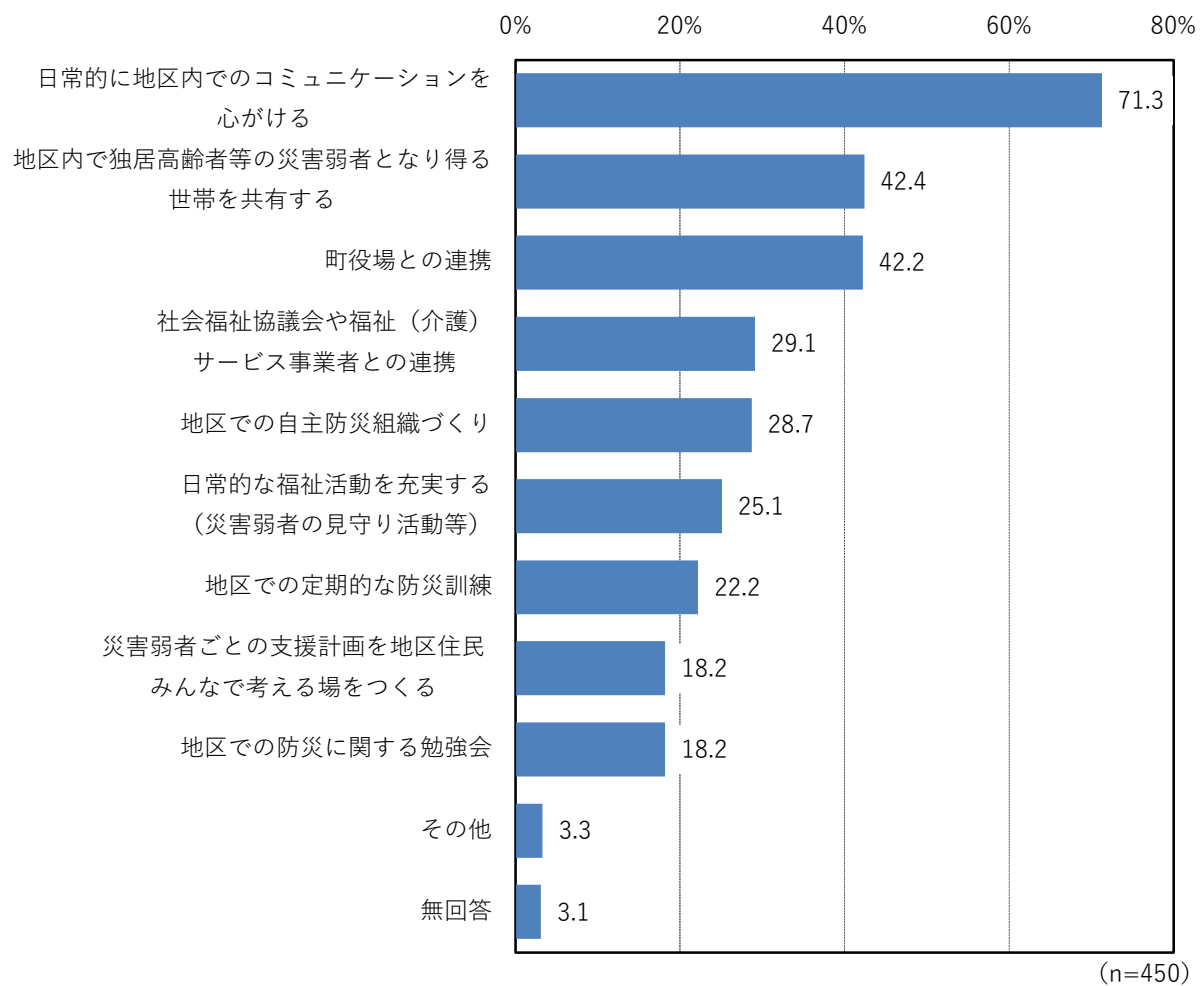
●問7で、地区の活動や行事に「参加していない」と回答した人に、参加していない理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しく参加していない」と回答した人の割合が最も高く、50.0%となっています。次いで、「興味がなく参加していない」(18.8%)、「健康や体力に不安があり参加していない」「知り合いが少なく参加していない」(共に 12.5%)と続いています。



(n=112)

問9 豪雨や地震等の災害時に地区住民同士が協力し合えるためには、どのようなことが必要だと思いますか。〈該当する項目すべてに○〉

- 豪雨や地震等の災害時に地区住民同士が協力し合えるためには、どのようなことが必要だと思うかたずねたところ、「日常的に地区内でのコミュニケーションを心がける」と回答した人の割合が最も高く、71.3%となっています。次いで、「地区内で独居高齢者等の災害弱者となり得る世帯を共有する」(42.4%)、「町役場との連携」(42.2%)と続いています。
- 性別にみると、「地区での自主防災組織づくり」と回答した男性の割合が、女性に比べて高くなっています。一方、「地区内で独居高齢者等の災害弱者となり得る世帯を共有する」と回答した女性の割合が、男性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代の「災害弱者ごとの支援計画を地区住民みんなで考える場をつくる」「地区での定期的な防災訓練」と回答した人の割合が、他の年代に比べ低くなっています。



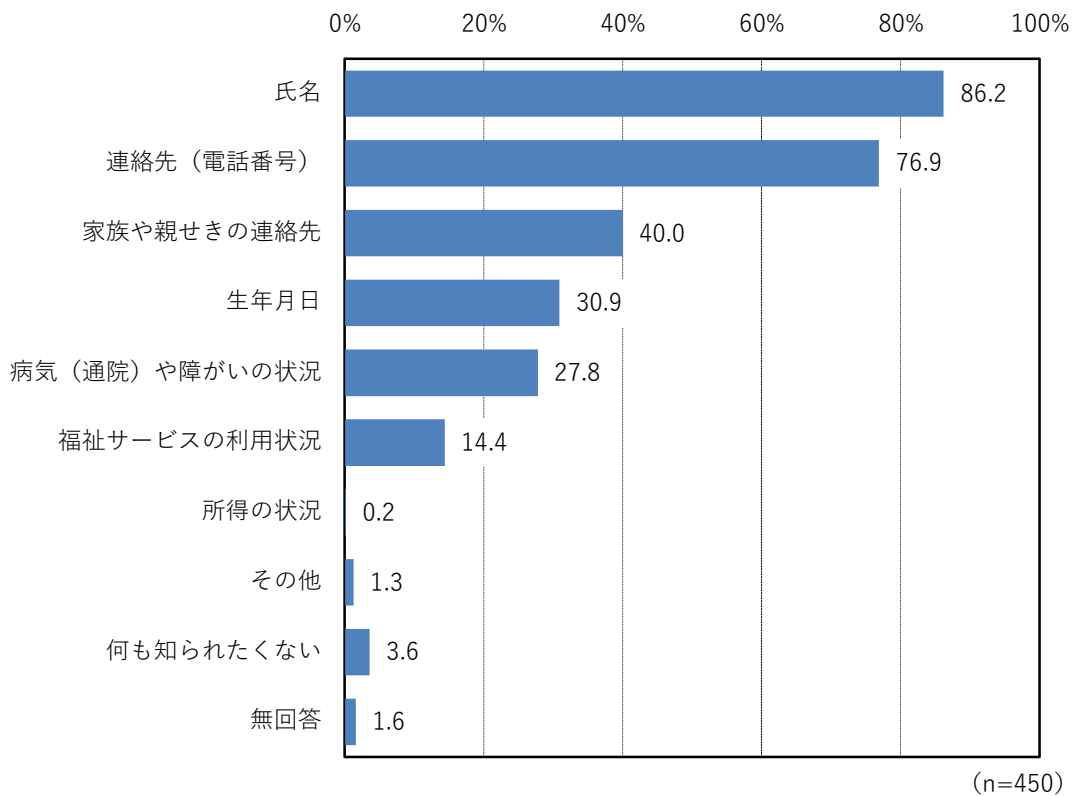
災害時に地区住民同士が協力し合うために必要だと思うこと（男女別・年代別）

（単位：％）

		日常的に地区内でのコミュニケーションを心がける	地区内での独居高齢者等を共有する	（日常的な福祉活動の見守り活動等）	住民みんなで考える場をつくる	地区での自主防災組織づくり	地区での定期的な防災訓練	地区での防災に関する勉強会	町役場との連携	社会福祉協議会や福祉（介護）	その他	無回答
性別	男性(n=155)	69.7	36.1	23.2	18.1	37.4	23.9	20.0	47.1	25.8	3.9	1.9
	女性(n=276)	72.5	47.1	26.8	18.5	25.0	21.4	18.5	40.6	30.8	3.3	2.5
年代別	20歳代(n=28)	60.7	28.6	14.3	3.6	21.4	3.6	14.3	39.3	14.3	10.7	-
	30歳代(n=43)	79.1	41.9	20.9	18.6	34.9	27.9	25.6	44.2	23.3	2.3	2.3
	40歳代(n=73)	64.4	45.2	23.3	16.4	26.0	20.5	16.4	49.3	28.8	2.7	1.4
	50歳代(n=53)	77.4	41.5	22.6	15.1	20.8	15.1	13.2	45.3	30.2	-	-
	60歳代(n=87)	73.6	55.2	31.0	16.1	35.6	27.6	23.0	47.1	27.6	1.1	3.4
	70歳代(n=103)	74.8	39.8	23.3	21.4	29.1	21.4	18.4	37.9	30.1	4.9	1.9
	80歳代以上(n=42)	69.0	38.1	31.0	31.0	31.0	28.6	21.4	31.0	42.9	7.1	7.1

問10 あなたが、災害時等の緊急時などに近所の手助けが必要となる場合に備えて、どのような情報であれば、地域の人に知らせてもよいとお考えですか。〈該当する項目すべてに○〉

- 災害時等の緊急時などに近所の手助けが必要となる場合に備えて、どのような情報であれば、地域の人に知らせてもよいかたずねたところ、「何も知られたくない」(3.6%)「無回答」(1.6%)を除く94.8%の方は、何らかの情報を知らせてもよいと答えています。そのうち、「氏名」と回答した人の割合が最も高く、86.2%となっています。次いで、「連絡先(電話番号)」(76.9%)、「家族や親せきの連絡先」(40.0%)と続いています。
- 性別にみると、女性の「家族や親せきの連絡先」と回答した人の割合が、男性に比べ高くなっていますが、その他の回答項目では大きな差は見られません。
- 年代別にみると、80歳代の「福祉サービスの利用状況」、20歳代の「何も知られたくない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。また、「家族や親せきの連絡先」は、40歳代から年代が高くなるにつれて回答した割合が高くなっています。



緊急時に近所に知らせてもよいと考える情報（男女別・年代別）

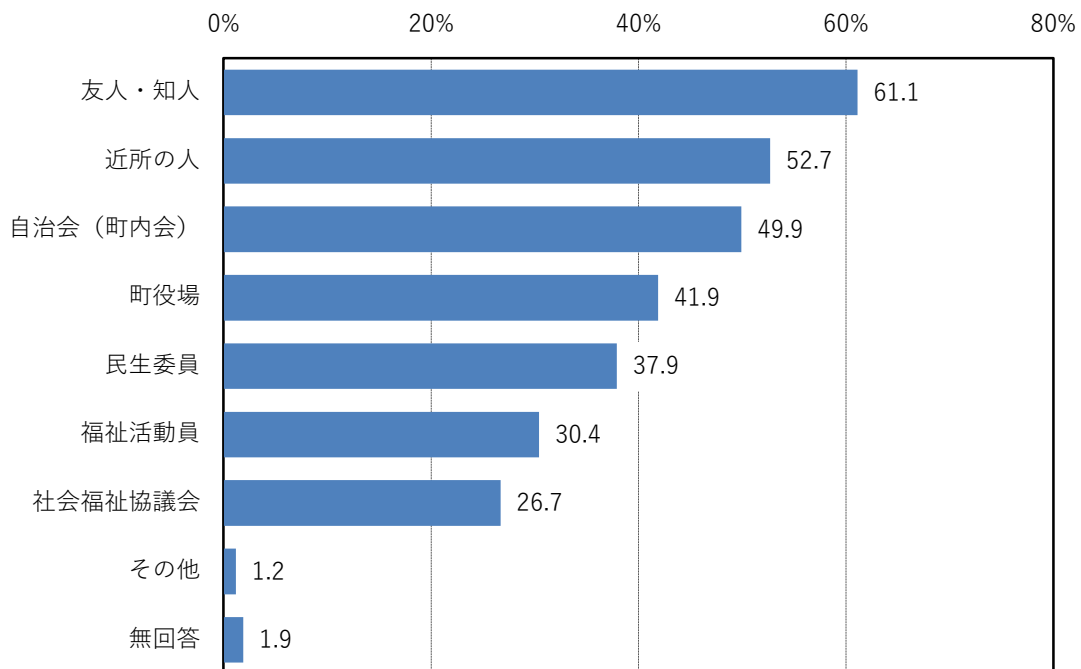
（単位：％）

		氏名	生年月日	連絡先（電話番号）	家族や親せきの連絡先	病気（通院）や障がい の状況	福祉サービスの利用状況	所得の状況	その他	何も知られたくない	無回答
性別	男性(n=155)	88.4	31.0	77.4	35.5	24.5	11.6	-	1.9	4.5	1.9
	女性(n=276)	86.6	30.4	77.2	42.4	28.6	15.6	0.4	1.1	3.3	0.7
年代別	20歳代(n=28)	75.0	28.6	75.0	28.6	17.9	3.6	-	-	10.7	-
	30歳代(n=43)	90.7	34.9	72.1	27.9	30.2	11.6	-	2.3	4.7	-
	40歳代(n=73)	82.2	21.9	74.0	26.0	27.4	8.2	-	4.1	4.1	-
	50歳代(n=53)	90.6	30.2	83.0	41.5	32.1	13.2	1.9	-	1.9	-
	60歳代(n=87)	95.4	27.6	87.4	43.7	21.8	10.3	-	-	2.3	2.3
	70歳代(n=103)	84.5	31.1	68.9	46.6	26.2	15.5	-	1.9	2.9	2.9
	80歳代以上(n=42)	85.7	50.0	85.7	57.1	33.3	35.7	-	-	2.4	-

【問10で「1」から「8」までのいずれかを選択した方に伺います】

問11 あなたは、知らせてもよいと回答した情報を、どの範囲までなら知らせてもよいと考えますか。
<該当する項目すべてに○>

- 問10で、何らかの情報を地域の人に知らせてもよいと回答した人に、その情報を、どの範囲までなら知らせてもよいかたずねたところ、「友人・知人」と回答した人の割合が最も高く、61.1%となっています。次いで、「近所の人」(52.7%)、「自治会(町内会)」(49.9%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「自治会(町内会)」と回答した人の割合が高くなっています。一方、女性の「友人・知人」「社会福祉協議会」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代は「近所の人」「自治会(町内会)」「民生委員」「福祉活動員」と回答した人の割合が、他の年代より低くなっています。また年代が高くなるにつれて、「友人・知人」と回答した人の割合は概ね低くなり、「民生委員」「福祉活動員」と回答した人の割合が概ね高くなっています。



(n=427)

緊急時に情報を知らせてもよいと考える範囲（男女別・年代別）

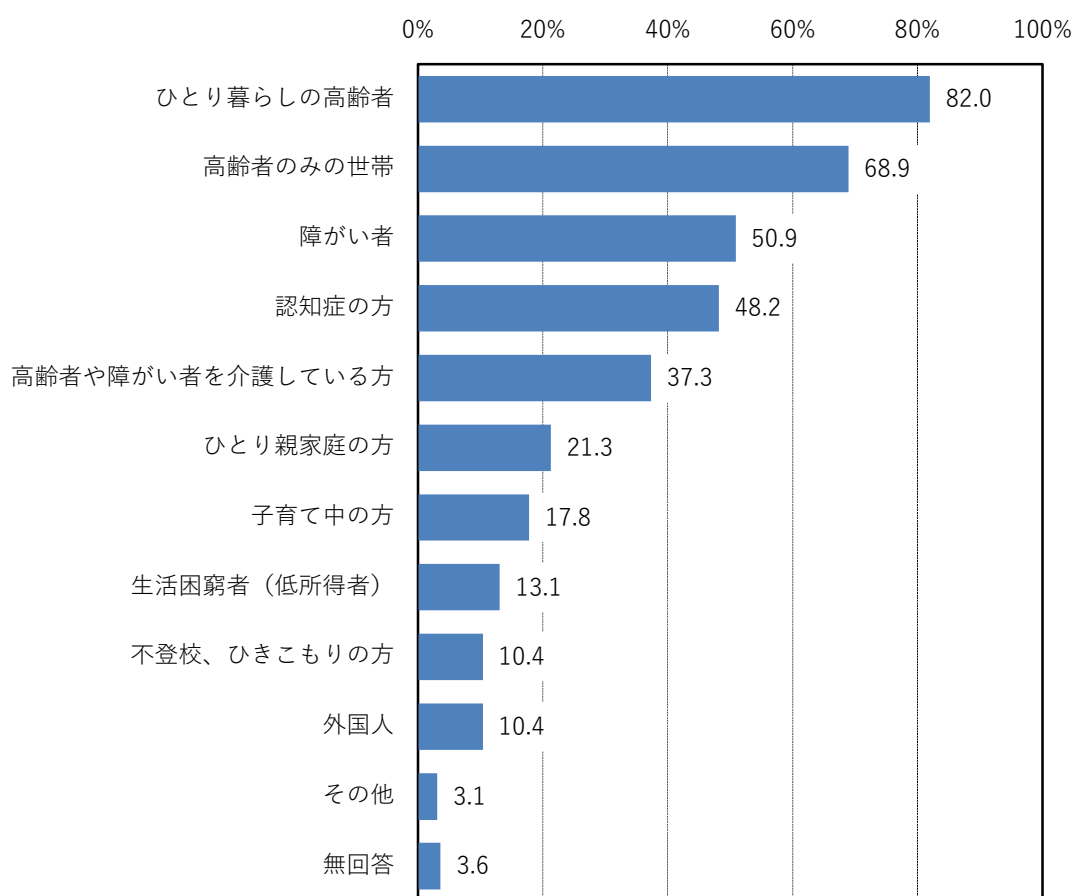
(単位：%)

		友人・知人	近所の人	自治会（町内会）	民生委員	福祉活動員	町役場	社会福祉協議会	その他	無回答
性別	男性(n=145)	55.9	51.7	55.9	40.0	30.3	45.5	24.1	-	2.1
	女性(n=265)	64.5	52.5	47.5	36.6	29.8	40.4	29.1	1.9	1.1
年代別	20歳代(n=25)	72.0	44.0	32.0	20.0	20.0	40.0	20.0	4.0	-
	30歳代(n=41)	80.5	51.2	48.8	36.6	24.4	43.9	24.4	4.9	-
	40歳代(n=70)	72.9	54.3	55.7	41.4	30.0	60.0	30.0	-	-
	50歳代(n=52)	67.3	57.7	57.7	32.7	28.8	48.1	25.0	-	-
	60歳代(n=83)	55.4	54.2	43.4	37.3	26.5	33.7	21.7	-	2.4
	70歳代(n=97)	51.5	48.5	54.6	36.1	32.0	34.0	22.7	2.1	2.1
	80歳代以上(n=41)	41.5	58.5	51.2	58.5	41.5	39.0	48.8	-	4.9

問12 あなたがお住まいの地区の中で、特に支援が必要と思われる方はどんな方々ですか。

<該当する項目すべてに○>

- お住まいの地区の中で、特に支援が必要と思われる方はどんな方々かたずねたところ、「ひとり暮らしの高齢者」と回答した人の割合が最も高く、82.0%となっています。次いで、「高齢者のみの世帯」(68.9%)、「障がい者」(50.9%)と続いています。
- 性別にみると、「高齢者のみの世帯」と回答した人の割合は男性が、「子育て中の方」と回答した人の割合は女性が高くなっていますが、その他の項目で大きな差は見られません。
- 年代別にみると、30歳代の「高齢者のみの世帯」「ひとり親家庭の方」「子育て中の方」、80歳以上の「ひとり暮らしの高齢者」「高齢者のみの世帯」「認知症の方」と回答した人の割合が、他の年代より高くなっています。



(n=450)

地区内で特に支援が必要だと思う方（男女別・年代別）

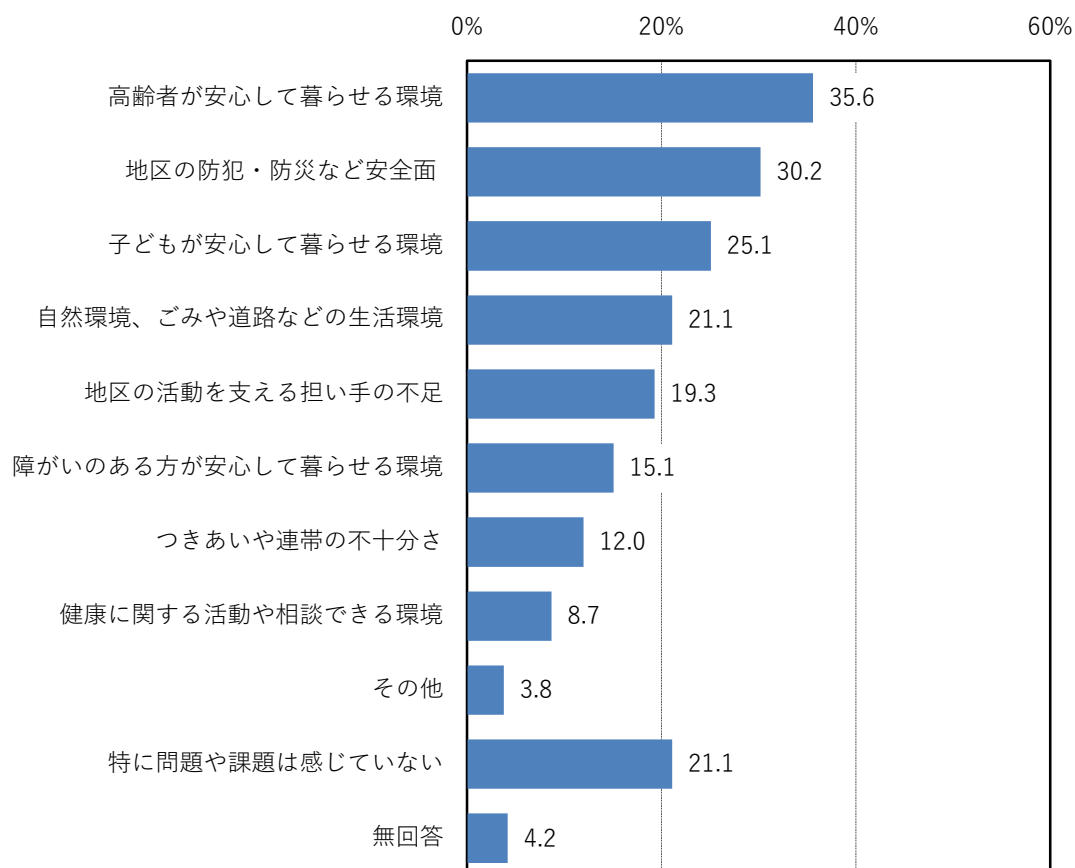
（単位：％）

		ひとり暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障がい者	認知症の方	ひとり親家庭の方	子育て中の方	介護している方	高齢者や障がい者を	不登校、ひきこもりの方	（低所得者） 生活困窮者	外国人	その他	無回答
性別	男性(n=155)	81.3	74.2	53.5	48.4	20.0	14.2	37.4	8.4	11.6	9.7	1.3	2.6	
	女性(n=276)	84.1	65.9	50.4	48.9	22.5	20.3	37.3	12.0	14.1	11.6	4.3	3.3	
年代別	20歳代(n=28)	75.0	57.1	42.9	39.3	14.3	28.6	39.3	3.6	10.7	14.3	3.6	-	
	30歳代(n=43)	81.4	81.4	60.5	55.8	39.5	37.2	41.9	16.3	16.3	20.9	4.7	-	
	40歳代(n=73)	87.7	74.0	57.5	56.2	27.4	21.9	45.2	12.3	11.0	11.0	2.7	4.1	
	50歳代(n=53)	75.5	66.0	56.6	52.8	20.8	18.9	45.3	17.0	20.8	18.9	-	1.9	
	60歳代(n=87)	86.2	67.8	54.0	48.3	14.9	9.2	29.9	5.7	9.2	5.7	3.4	1.1	
	70歳代(n=103)	79.6	65.0	37.9	36.9	13.6	10.7	29.1	5.8	8.7	2.9	3.9	4.9	
	80歳代以上(n=42)	88.1	81.0	57.1	57.1	28.6	19.0	45.2	16.7	19.0	11.9	4.8	2.4	

問13 あなたがお住まいの地区に問題や課題があるとすれば、どんなことですか。

<該当する項目すべてに○>

- あなたが住まいの地区に問題や課題があるとすれば、どんなことかたずねたところ、「特に問題や課題は感じていない」(21.1%)「無回答」(4.2%)を除く74.7%の方が、何らかの問題や課題があると答えています。そのうち、「高齢者が安心して暮らせる環境」と回答した人の割合が最も高く、35.6%となっています。次いで、「地区の防犯・防災など安全面」(30.2%)、「子どもが安心して暮らせる環境」(25.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「高齢者が安心して暮らせる環境」「子どもが安心して暮らせる環境」「地区の活動を支える担い手の不足」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、最も回答した割合が高い項目は、20歳代「自然環境、ごみや道路などの生活環境」、30歳代「高齢者が安心して暮らせる環境」「子どもが安心して暮らせる環境」、40歳代「地区の防犯・防災など安全面」、50歳代「地区の防犯・防災など安全面」「高齢者が安心して暮らせる環境」、60歳代、70歳代、80歳代「高齢者が安心して暮らせる環境」となっており、50歳代より高い年代では同一の項目が最も高くなっていますが、40歳代より下の年代では年代ごとに認識している問題や課題に違いが見られます。



(n=450)

地区内での問題や課題（男女別・年代別）

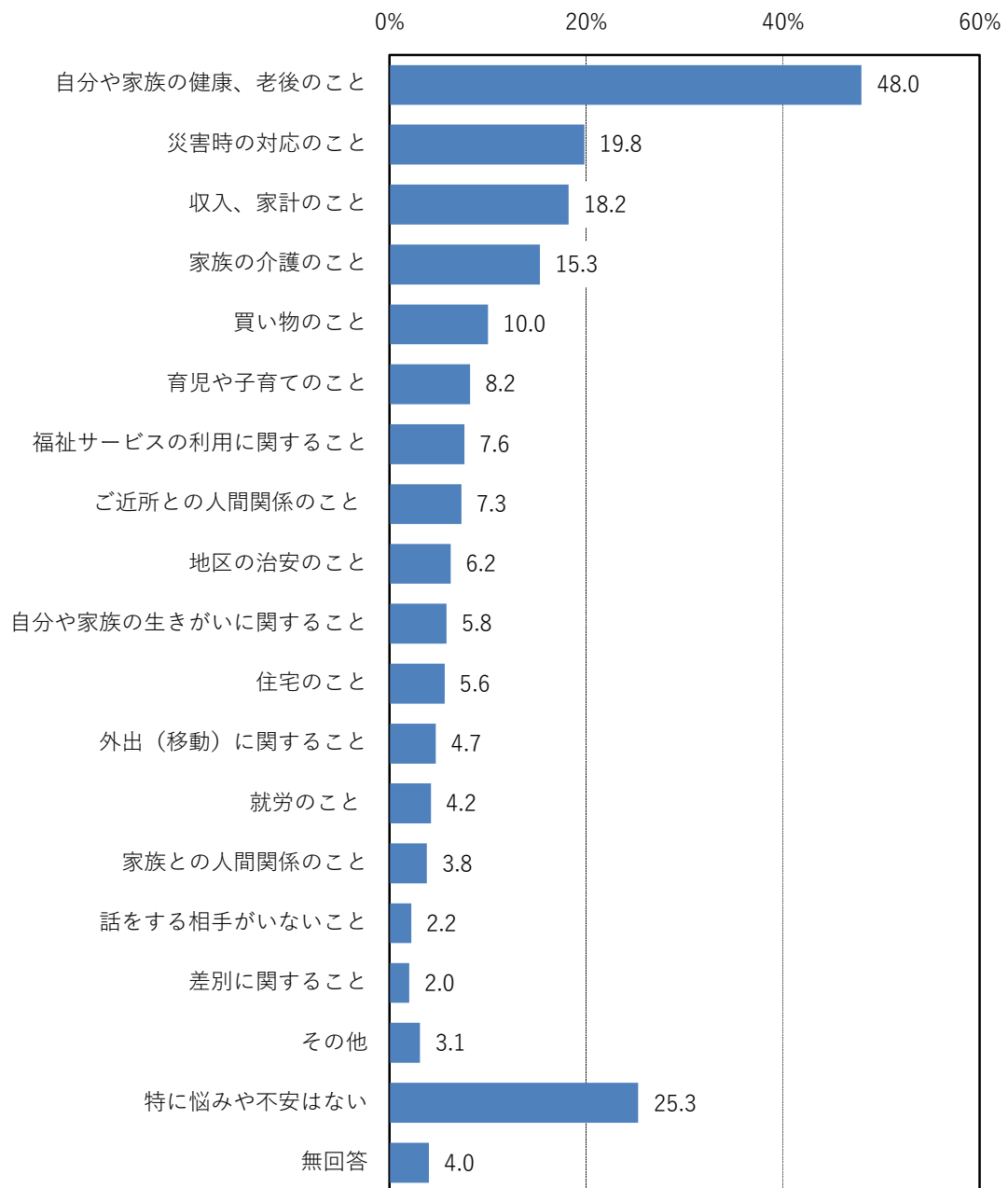
（単位：％）

		地区の防犯・防災など安全面	生活環境、自然環境、ごみや道路などの	高齢者が安心して暮らせる環境	暮らせる環境	障がいのある方が安心して暮らせる環境	子どもが安心して暮らせる環境	健康に関する活動や相談できる環境	つきあいや連帯の不十分さ	地区の活動を支える担い手の不足	特に問題や課題は感じていない	その他	無回答
性別	男性(n=155)	28.4	23.9	40.6	17.4	29.7	10.3	12.3	25.2	20.0	3.9	1.3	
	女性(n=276)	32.2	20.3	33.0	13.8	23.2	7.6	12.0	16.7	21.7	4.0	5.1	
年代別	20歳代(n=28)	17.9	35.7	32.1	7.1	28.6	7.1	7.1	10.7	28.6	-	-	
	30歳代(n=43)	39.5	16.3	37.2	14.0	37.2	4.7	18.6	9.3	16.3	4.7	2.3	
	40歳代(n=73)	34.2	21.9	28.8	17.8	30.1	4.1	8.2	21.9	20.5	6.8	4.1	
	50歳代(n=53)	34.0	22.6	34.0	15.1	24.5	7.5	18.9	15.1	13.2	1.9	5.7	
	60歳代(n=87)	25.3	28.7	32.2	13.8	20.7	5.7	13.8	29.9	23.0	4.6	3.4	
	70歳代(n=103)	32.0	15.5	40.8	14.6	20.4	11.7	10.7	18.4	25.2	2.9	3.9	
	80歳代以上(n=42)	26.2	14.3	47.6	21.4	19.0	19.0	9.5	21.4	19.0	4.8	4.8	

3. ご自身やご家族の困りごと、福祉活動の進め方について

問14 あなたやあなたのご家族は、日々の生活でどのような悩みや不安、困りごとを感じるがありますか。〈該当する項目すべてに○〉

- あなたやあなたのご家族は、日々の生活でどのような悩みや不安、困りごとを感じるがあるかたずねたところ、「特に悩みや不安はない」(25.3%)「無回答」(4.0%)を除く70.7%の方が、何らかの悩みや不安、困りごとがあると答えています。そのうち、「自分や家族の健康、老後のこと」と回答した人の割合が最も高く、48.0%となっています。次いで、「災害時の対応のこと」(19.8%)、「収入、家計のこと」(18.2%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「自分や家族の健康、老後のこと」「家族の介護のこと」「収入、家計のこと」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代の「差別に関すること」、30歳代の「収入・家計のこと」、30、40歳代の「育児や子育てのこと」、40、60歳代の「家族の介護のこと」、80歳代以上の「自分や家族の健康、老後のこと」「買い物のこと」、20、80歳代の「福祉サービスの利用に関すること」と回答した人の割合が、その他の年代に比べて高くなっています。



(n=450)

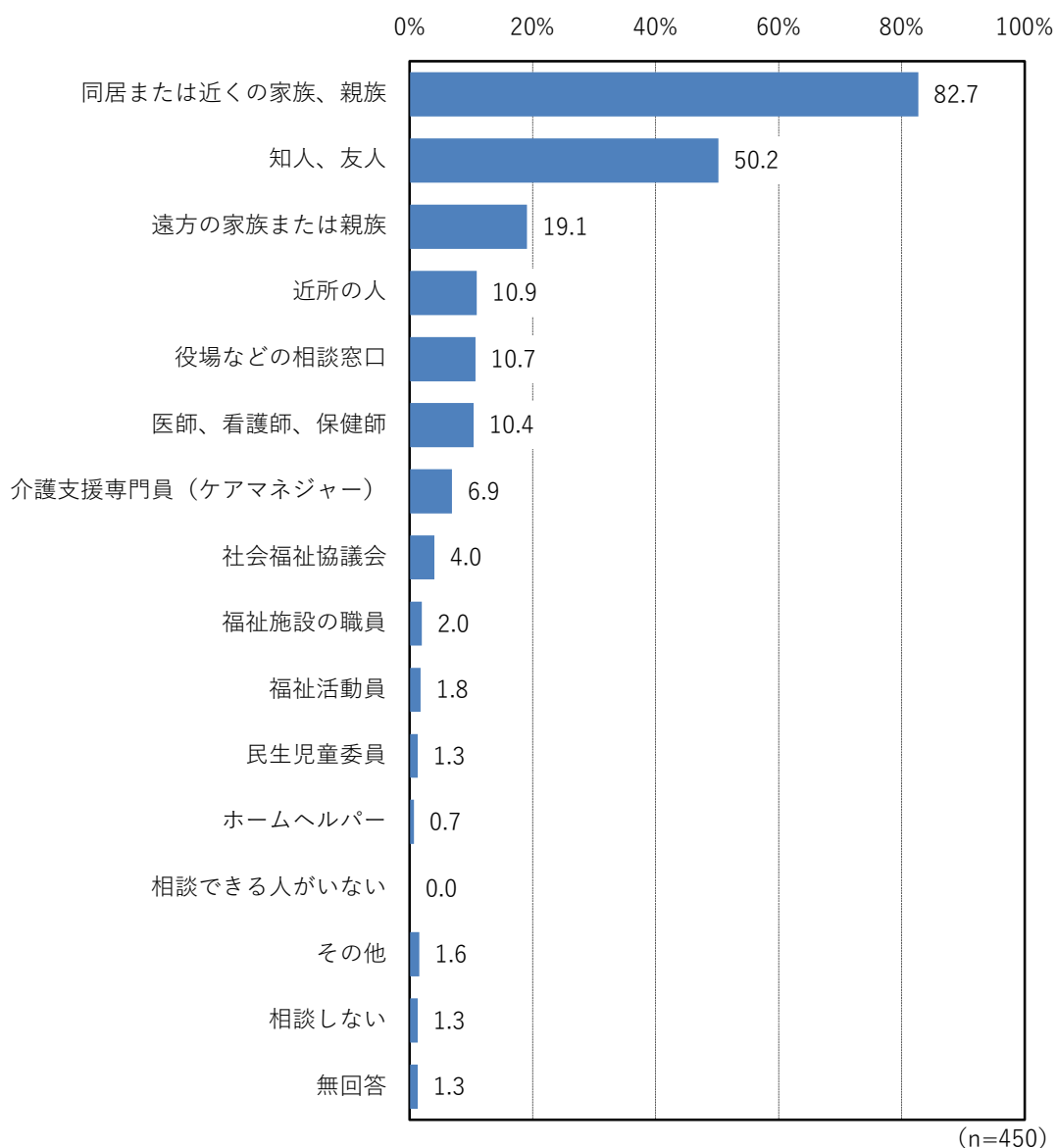
生活の中で感じる悩みや不安、困りごと（男女別・年代別）

（単位：％）

		老後のことや家族の健康、	自分や家族の生きがい	育児や子育てのこと	家族の介護のこと	家族との人間関係	ご近所との人間関係	収入、家計のこと	就労のこと	買い物のこと	住宅のこと
性別	男性(n=155)	54.8	8.4	9.0	18.7	2.6	7.7	21.3	5.2	9.0	3.9
	女性(n=276)	44.2	4.7	8.3	13.8	4.7	7.6	16.7	3.6	9.8	6.2
年代別	20歳代(n=28)	53.6	10.7	7.1	17.9	3.6	3.6	25.0	10.7	3.6	7.1
	30歳代(n=43)	32.6	7.0	23.3	7.0	4.7	9.3	32.6	7.0	4.7	4.7
	40歳代(n=73)	42.5	5.5	26.0	21.9	2.7	12.3	19.2	8.2	12.3	15.1
	50歳代(n=53)	52.8	7.5	1.9	17.0	7.5	7.5	20.8	3.8	7.5	3.8
	60歳代(n=87)	50.6	5.7	1.1	23.0	3.4	4.6	19.5	2.3	8.0	2.3
	70歳代(n=103)	46.6	3.9	1.0	5.8	2.9	6.8	10.7	1.0	9.7	2.9
	80歳代以上(n=42)	57.1	7.1	2.4	19.0	4.8	9.5	7.1	-	21.4	4.8
		地区の治安のこと	差別に関すること	災害時の対応のこと	福祉サービスの利用	話をする相手がいない	外出（移動）に関する	特に悩みや不安はない	その他	無回答	
性別	男性(n=155)	5.2	2.6	19.4	9.7	3.2	3.2	25.2	2.6	3.2	
	女性(n=276)	6.9	1.8	19.9	6.2	1.4	4.7	26.4	3.3	3.6	
年代別	20歳代(n=28)	7.1	10.7	17.9	17.9	7.1	7.1	32.1	-	-	
	30歳代(n=43)	9.3	2.3	20.9	7.0	4.7	4.7	27.9	4.7	-	
	40歳代(n=73)	8.2	4.1	20.5	6.8	1.4	1.4	24.7	4.1	1.4	
	50歳代(n=53)	9.4	-	11.3	5.7	-	3.8	20.8	3.8	1.9	
	60歳代(n=87)	3.4	2.3	21.8	2.3	1.1	5.7	26.4	3.4	4.6	
	70歳代(n=103)	3.9	-	20.4	7.8	2.9	3.9	28.2	1.0	4.9	
	80歳代以上(n=42)	4.8	-	16.7	14.3	-	7.1	23.8	4.8	7.1	

問15 あなたは、困った時に誰に相談していますか。〈該当する項目すべてに○〉

- 困った時に誰に相談しているかたずねたところ、「同居または近くの家族、親族」と回答した人の割合が最も高く、82.7%となっています。次いで、「知人、友人」(50.2%)、「遠方の家族または親族」(19.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「遠方の家族または親族」「知人・友人」と回答した人の割合は、女性に比べて低くなっています。
- 年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「知人、友人」と回答した人の割合は概ね低くなり、「役場などの相談窓口」「社会福祉協議会」「医師、看護師、保健師」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」と回答した人の割合が概ね高くなっています。



困った時に相談する相手（男女別・年代別）

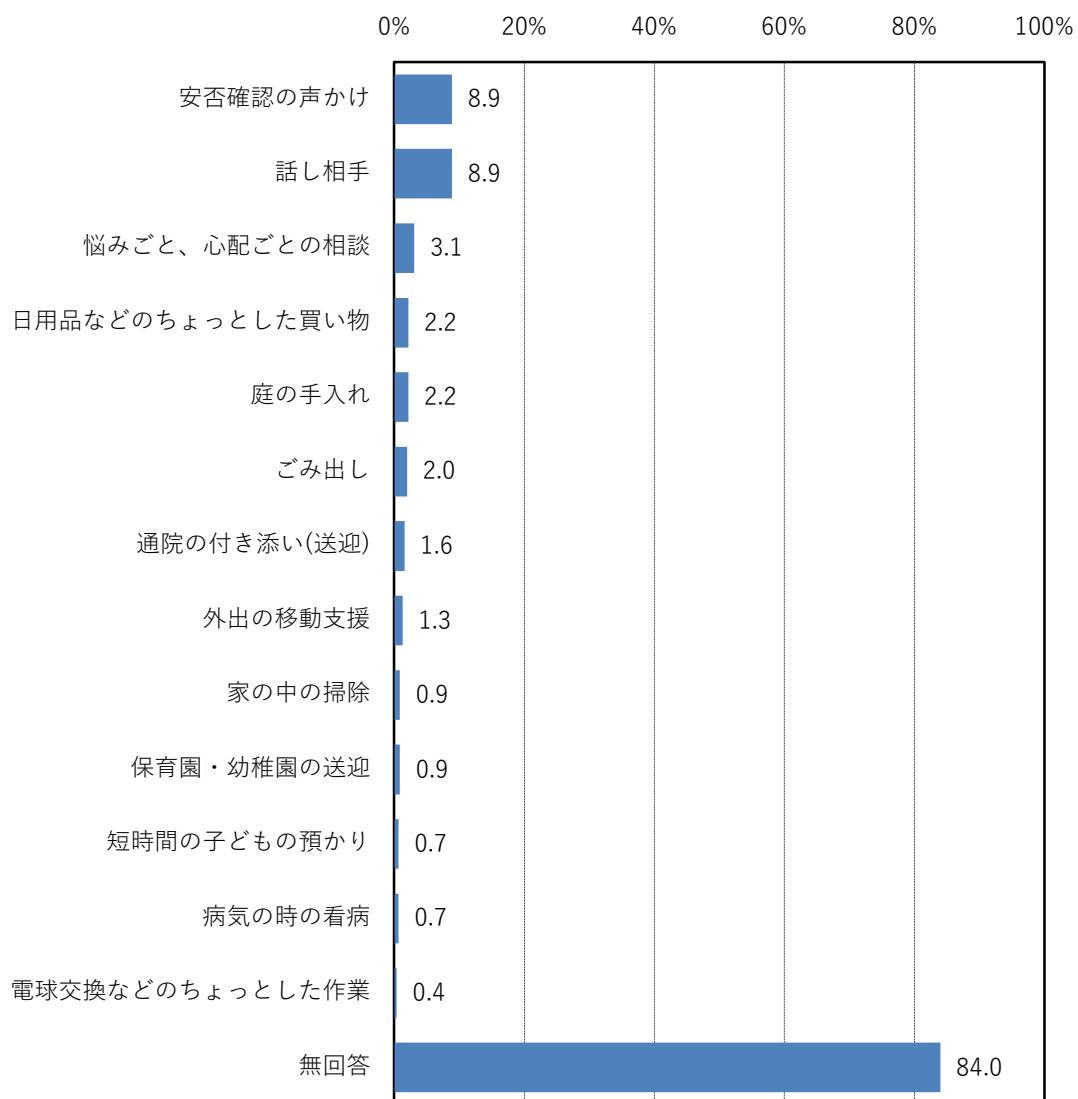
（単位：％）

		家族、同居または親族	親族	遠方の家族または	知人、友人	近所の人	役場などの相談窓口	社会福祉協議会	民生児童委員	福祉活動員
性別	男性(n=155)	85.2	13.5	41.9	11.0	11.0	4.5	2.6	2.6	
	女性(n=276)	81.2	22.5	55.8	10.5	10.1	3.6	0.4	1.1	
年代別	20歳代(n=28)	85.7	3.6	71.4	3.6	-	-	-	-	
	30歳代(n=43)	93.0	18.6	72.1	11.6	2.3	-	-	-	
	40歳代(n=73)	84.9	17.8	60.3	5.5	5.5	1.4	-	1.4	
	50歳代(n=53)	81.1	18.9	50.9	5.7	9.4	3.8	-	-	
	60歳代(n=87)	80.5	24.1	40.2	13.8	11.5	3.4	1.1	-	
	70歳代(n=103)	81.6	19.4	47.6	16.5	13.6	2.9	1.0	1.0	
	80歳代以上(n=42)	76.2	19.0	23.8	9.5	23.8	19.0	7.1	9.5	
		ホームヘルパー	医師、看護師、保健師	（介護支援専門員）	福祉施設の職員	相談できる人がいない	相談しない	その他	無回答	
性別	男性(n=155)	1.3	9.7	7.7	1.9	-	1.9	1.3	0.6	
	女性(n=276)	0.4	9.8	6.2	2.2	-	1.1	1.8	1.4	
年代別	20歳代(n=28)	-	3.6	-	-	-	3.6	-	-	
	30歳代(n=43)	-	7.0	2.3	4.7	-	-	2.3	-	
	40歳代(n=73)	-	8.2	4.1	1.4	-	-	1.4	1.4	
	50歳代(n=53)	1.9	9.4	9.4	-	-	-	1.9	1.9	
	60歳代(n=87)	1.1	4.6	9.2	2.3	-	3.4	1.1	1.1	
	70歳代(n=103)	1.0	13.6	3.9	1.0	-	1.0	1.9	-	
	80歳代以上(n=42)	-	23.8	21.4	7.1	-	2.4	2.4	2.4	

問16① あなたは、地区に困っている世帯がある場合、現在、既に手助けしていることはありますか。

<該当する項目すべてに○>

- 地区に困っている世帯がある場合、現在、既に手助けしていることはあるかたずねたところ、「安否確認の声かけ」「話し相手」と回答した人の割合が最も高く、共に8.9%となっています。次いで、「悩みごと、心配ごとの相談」(3.1%)、「日用品などのちょっとした買い物」(2.2%)と続いています。
- 性別にみても、大きな差は見られません。
- 年代別にみると、70歳代の「安否確認の声かけ」「話し相手」「外出の移動支援」と回答した割合が、他の年代に比べ高くなっています。
- 前期高齢者の「安否確認の声かけ」と回答した割合が、後期高齢者に比べて高くなっています。



(n=450)

困っている世帯に、既に手助けしていること（男女別・年代別・高齢者区分別）

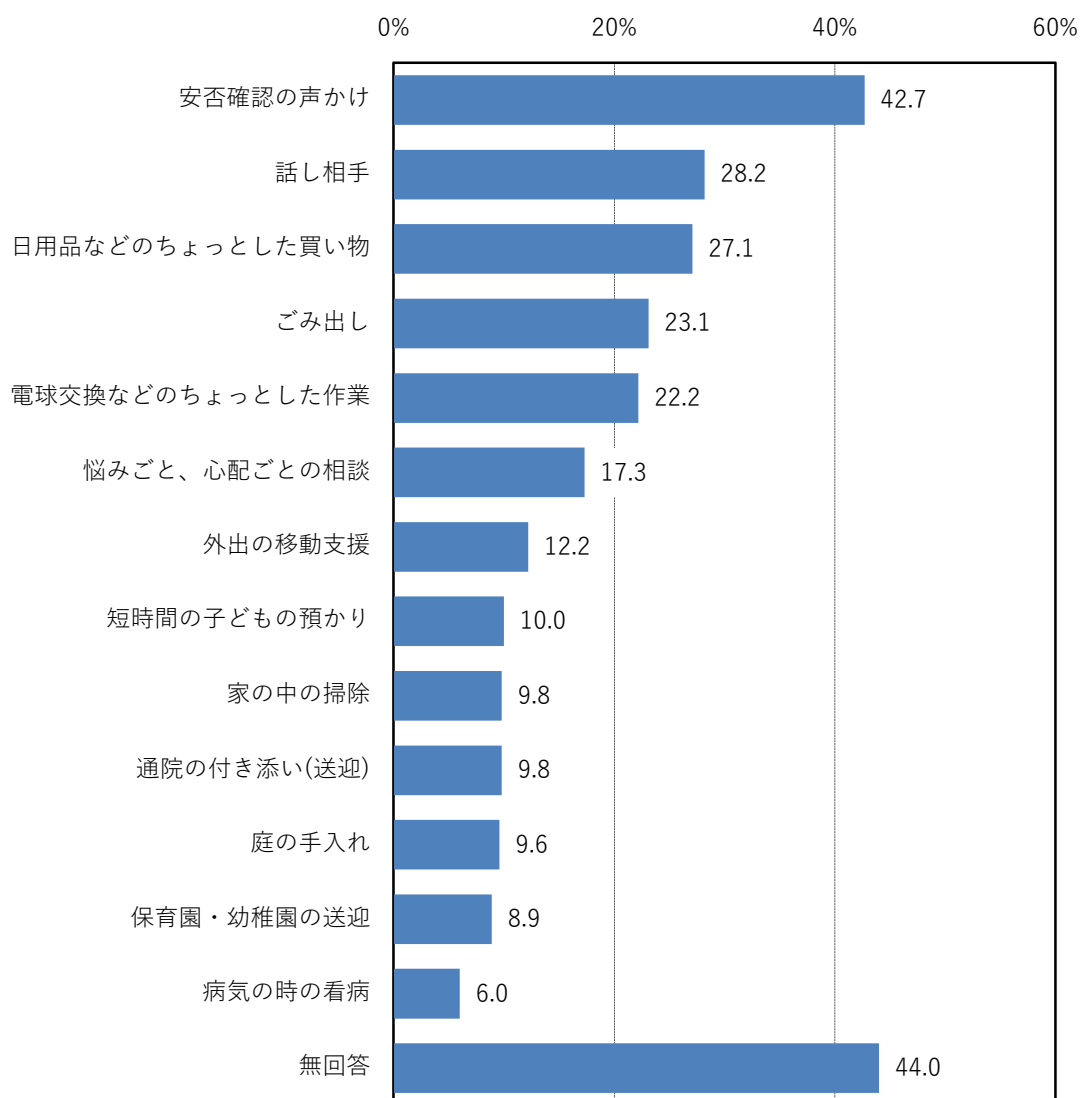
（単位：％）

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	買い物	日用品などのちよつとした	電球交換などのちよつと	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ	外出の移動支援	短時間の子ども預かり	保育園・幼稚園の送迎	通院の付き添い（送迎）	病気の時の看病	無回答
性別	男性(n=155)	7.7	9.0	1.3	1.3	0.6	2.6	1.9	4.5	1.3	-	0.6	-	-	-	85.8
	女性(n=276)	9.8	9.1	4.3	2.9	-	1.4	0.4	1.1	1.4	1.1	1.1	1.8	0.7	-	83.0
年代別	20歳代(n=28)	-	3.6	3.6	-	-	3.6	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	92.9
	30歳代(n=43)	2.3	2.3	7.0	-	-	-	2.3	-	-	4.7	4.7	-	2.3	-	88.4
	40歳代(n=73)	4.1	2.7	2.7	2.7	-	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	91.8
	50歳代(n=53)	7.5	7.5	1.9	-	-	1.9	-	3.8	-	-	-	-	1.9	-	84.9
	60歳代(n=87)	10.3	8.0	2.3	3.4	-	1.1	-	-	-	1.1	2.3	-	-	-	83.9
	70歳代(n=103)	18.4	18.4	4.9	3.9	1.0	-	1.0	3.9	5.8	-	-	-	3.9	1.0	72.8
	80歳代以上(n=42)	4.8	9.5	-	2.4	-	4.8	2.4	7.1	-	-	-	-	-	-	88.1
前期高齢者（65歳～74歳）(n=89)		16.9	15.7	3.4	2.2	1.1	-	-	2.2	3.4	-	1.1	2.2	-	-	76.4
後期高齢者（75歳以上）(n=82)		8.5	14.6	2.4	3.7	-	2.4	2.4	4.9	2.4	-	-	1.2	-	-	80.5

問16② あなたは、地区に困っている世帯がある場合、今後、手助けできると思うことはありますか。

<該当する項目すべてに○>

- 地区に困っている世帯がある場合、今後、手助けできると思うことはあるかたずねたところ、「安否確認の声かけ」と回答した人の割合が最も高く、42.7%となっています。次いで、「話し相手」(28.2%)、「日用品などのちょっとした買い物」(27.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「電球交換などのちょっとした作業」、女性の「話し相手」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、「電球交換などのちょっとした作業」を除くすべての項目において、30歳代の回答した割合が最も高くなっています。
- 高齢者を前期・後期でみると、前期高齢者の「安否確認の声かけ」「日用品などのちょっとした買い物」「ごみ出し」「保育園・幼稚園の送迎」と回答した人の割合が高くなっています。



(n=450)

困っている世帯に、今後手助けできること（男女別・年代別）

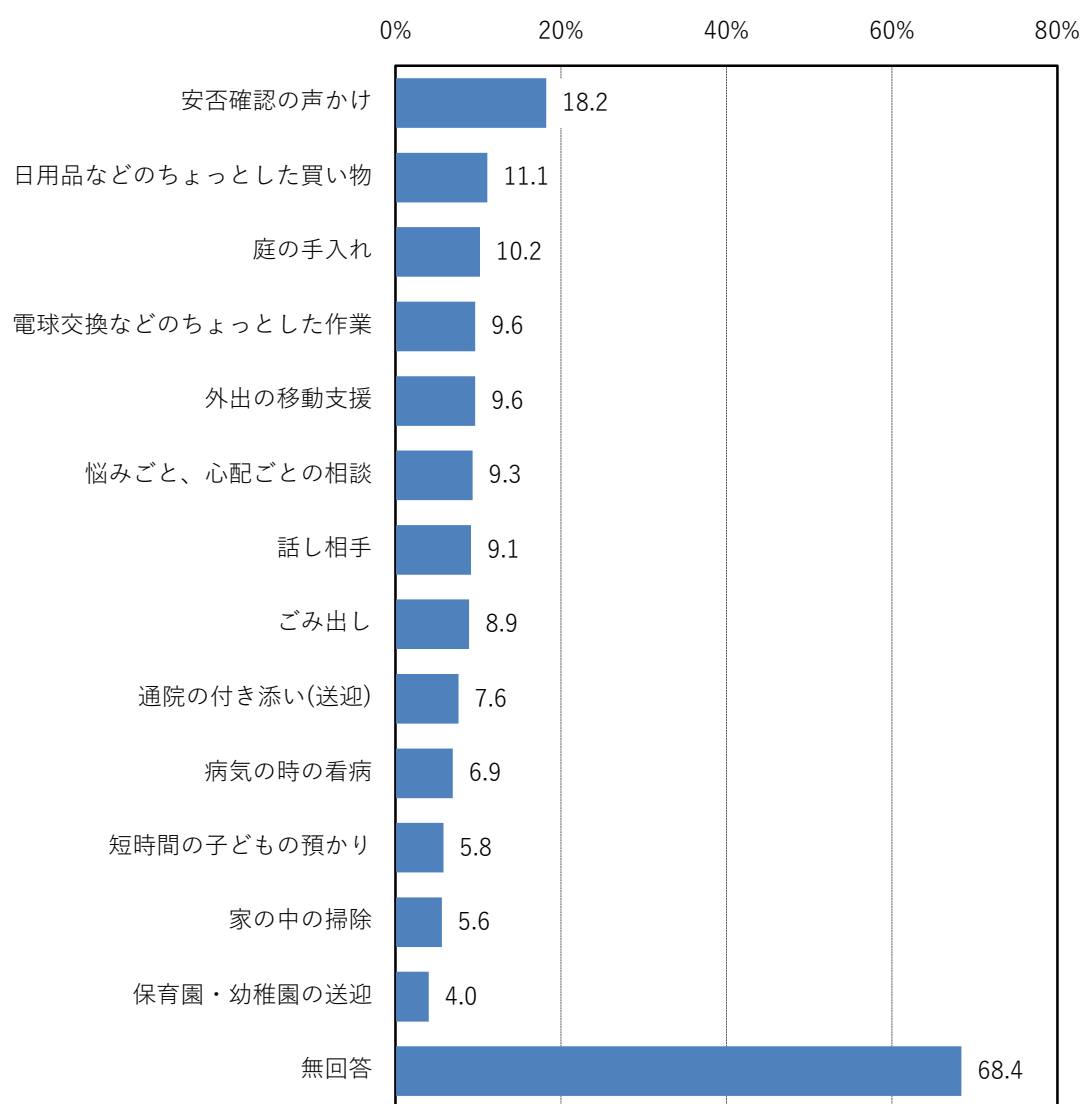
（単位：％）

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	買い物などのちょっとした	日用品などのちょっとした	電球交換などのちょっとした	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ	外出の移動支援	短時間の子ども預かり	保育園・幼稚園の送迎	通院の付き添い（送迎）	病気の時の看病	無回答
性別	男性(n=155)	46.5	21.9	16.8	25.2	32.9	25.2	12.3	12.3	13.5	9.7	10.3	10.3	6.5	39.4	
	女性(n=276)	42.0	31.9	17.8	28.6	16.7	22.8	9.1	8.3	11.6	10.9	8.7	10.1	5.8	45.7	
年代別	20歳代(n=28)	35.7	25.0	17.9	32.1	28.6	10.7	10.7	10.7	25.0	17.9	14.3	17.9	10.7	46.4	
	30歳代(n=43)	58.1	39.5	37.2	32.6	25.6	30.2	18.6	20.9	23.3	23.3	16.3	25.6	16.3	37.2	
	40歳代(n=73)	54.8	27.4	20.5	32.9	31.5	23.3	9.6	6.8	9.6	9.6	11.0	8.2	4.1	35.6	
	50歳代(n=53)	56.6	30.2	18.9	30.2	34.0	30.2	15.1	9.4	17.0	11.3	11.3	15.1	13.2	35.8	
	60歳代(n=87)	46.0	32.2	12.6	26.4	18.4	25.3	4.6	6.9	9.2	10.3	4.6	5.7	1.1	41.4	
	70歳代(n=103)	35.9	25.2	10.7	24.3	15.5	23.3	11.7	12.6	8.7	6.8	8.7	5.8	4.9	45.6	
	80歳代以上(n=42)	14.3	21.4	14.3	14.3	14.3	9.5	4.8	2.4	7.1	2.4	4.8	7.1	2.4	66.7	
前期高齢者（65歳～74歳）(n=89)		40.4	23.6	12.4	28.1	18.0	29.2	12.4	14.6	7.9	9.0	10.1	5.6	4.5	43.8	
後期高齢者（75歳以上）(n=82)		23.2	25.6	12.2	14.6	12.2	11.0	4.9	3.7	7.3	2.4	4.9	4.9	2.4	58.5	

問16③ 現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に手助けしてほしいと思うことはありますか。

<該当する項目すべてに○>

- 現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に手助けしてほしいと思うことをたずねたところ、「安否確認の声かけ」と回答した人の割合が最も高く、18.2%となっています。次いで、「日用品などのちょっとした買い物」(11.1%)、「庭の手入れ」(10.2%)と続いています。
- 性別にみると、女性の「日用品などのちょっとした買い物」「電球交換などのちょっとした作業」「庭の手入れ」「外出の移動支援」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、70歳代の「安否確認の声かけ」と回答した人の割合が、他の年代に比べ低くなっています。また、20歳代は、「悩みごと、心配ごとの相談」「外出の移動支援」など、他の年代より回答割合が高くなっている項目が多くみられます。



(n=450)

将来的に、地域の人に手助けしてほしいと思うこと（男女別・年代別・高齢者区分別）

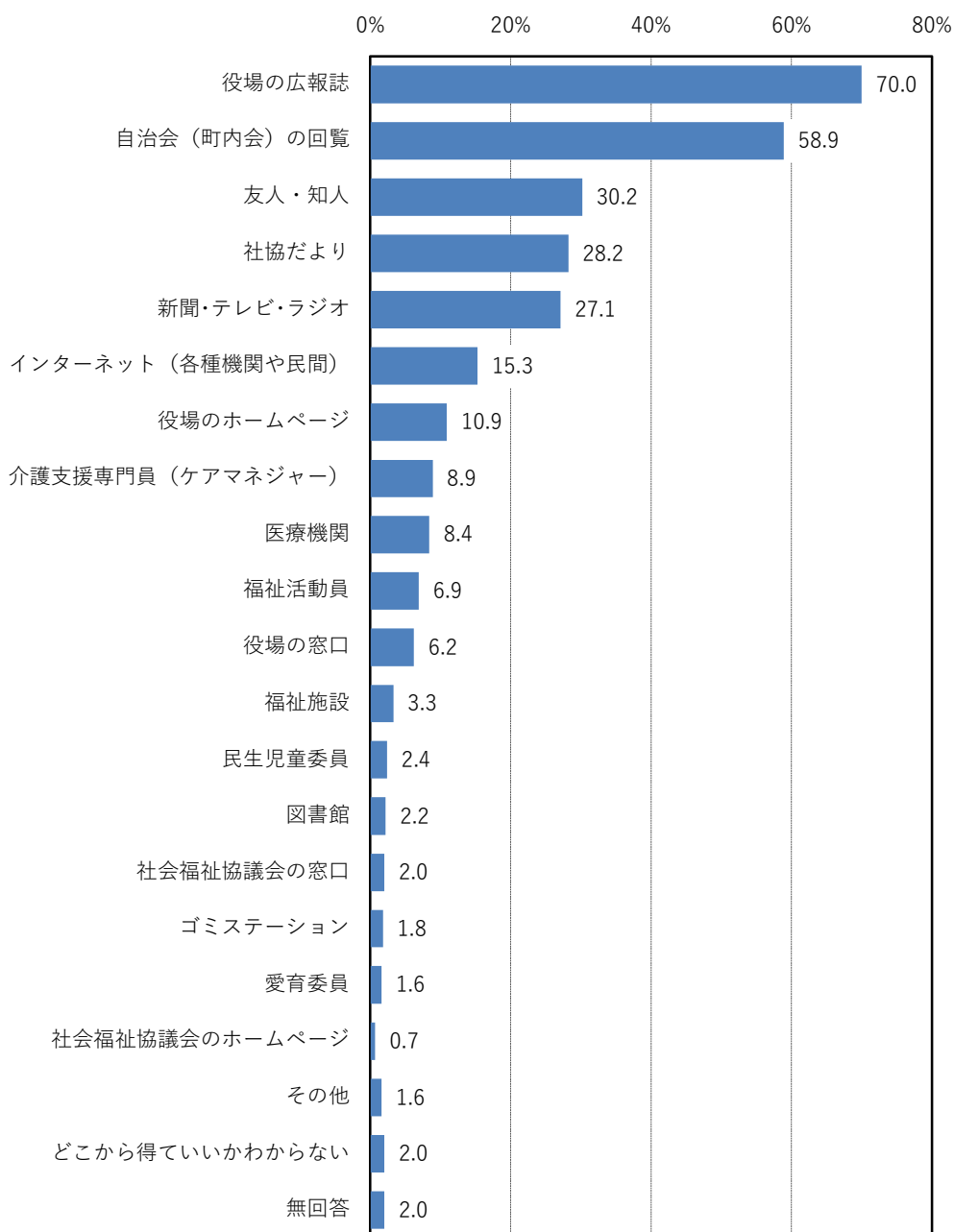
（単位：％）

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	買い物	日用品などのちよつとした	電球交換などのちよつと	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ	外出の移動支援	短時間の子ども預かり	保育園・幼稚園の送迎	通院の付き添い（送迎）	病気の時の看病	無回答
性別	男性(n=155)	19.4	8.4	7.1	7.1	4.5	7.1	5.2	7.7	7.1	6.5	3.9	6.5	7.7	68.4	
	女性(n=276)	18.1	10.1	10.9	13.4	12.7	10.1	6.2	12.0	11.2	5.8	4.3	8.3	6.9	68.1	
年代別	20歳代(n=28)	21.4	10.7	21.4	21.4	14.3	21.4	17.9	17.9	21.4	17.9	17.9	17.9	17.9	64.3	
	30歳代(n=43)	16.3	14.0	14.0	11.6	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	18.6	16.3	7.0	11.6	67.4	
	40歳代(n=73)	19.2	4.1	8.2	5.5	6.8	4.1	4.1	8.2	2.7	9.6	4.1	2.7	5.5	71.2	
	50歳代(n=53)	20.8	13.2	9.4	7.5	5.7	7.5	1.9	7.5	11.3	1.9	-	9.4	7.5	66.0	
	60歳代(n=87)	25.3	14.9	10.3	14.9	10.3	9.2	8.0	11.5	12.6	4.6	2.3	8.0	2.3	67.8	
	70歳代(n=103)	10.7	5.8	7.8	9.7	10.7	11.7	1.0	7.8	6.8	-	-	5.8	6.8	67.0	
	80歳代以上(n=42)	23.8	4.8	2.4	14.3	14.3	7.1	9.5	19.0	14.3	2.4	2.4	14.3	9.5	69.0	

問17 あなたやあなたのご家族は、福祉に関する情報をどのように収集していますか。

<該当する項目すべてに○>

- あなたやあなたのご家族は、福祉に関する情報をどのように収集しているかたずねたところ、「役場の広報誌」と回答した人の割合が最も高く、70.0%となっています。次いで、「自治会（町内会）の回覧」（58.9%）、「友人・知人」（30.2%）と続いています。
- 性別にみると、男性の「自治会（町内会）の回覧」「インターネット（各種機関や民間）」と回答した割合が、女性に比べて高くなっています。一方、女性の「社協だより」と回答した人の割合が、男性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、全ての年代で、「役場の広報誌」と回答した割合が最も高くなっています。「社協だより」は年代が高くなるにつれて回答した割合が概ね高くなっています。一方、「インターネット（各種機関や民間）」は年代が低くなるにつれて回答した割合が概ね高くなっています。



(n=450)

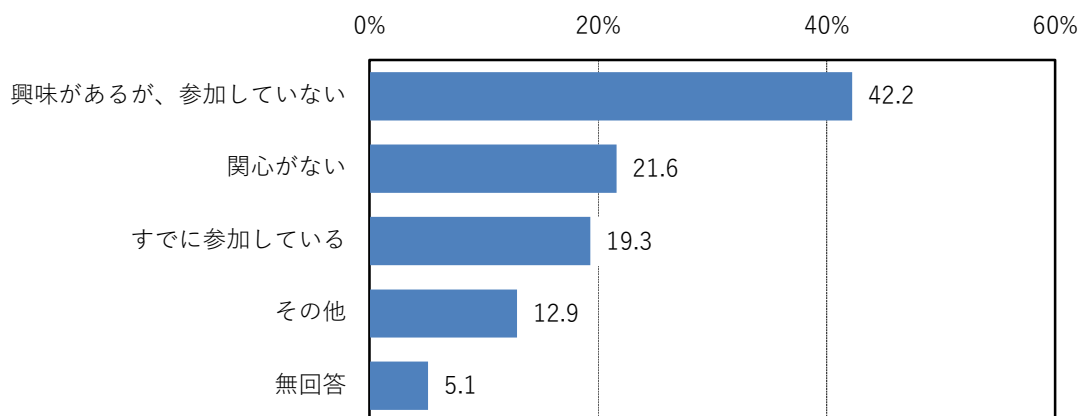
福祉に関する情報の収集方法（男女別・年代別）

（単位：％）

		友人・知人	自治会（町内会）の 回覧	役場の広報誌	役場の窓口	役場のホームページ	新聞・テレビ・ラジオ	（インターネット 各種機関や民間）	医療機関	福祉施設	民生児童委員	福祉活動員
性別	男性(n=155)	29.7	64.5	67.7	5.8	11.0	25.2	19.4	6.5	3.9	5.2	5.2
	女性(n=276)	31.2	56.5	70.7	6.2	10.5	28.3	13.4	9.4	3.3	0.7	7.6
年代別	20歳代(n=28)	25.0	42.9	53.6	3.6	3.6	25.0	32.1	3.6	3.6	-	-
	30歳代(n=43)	30.2	55.8	69.8	-	16.3	20.9	20.9	14.0	-	2.3	-
	40歳代(n=73)	30.1	50.7	72.6	6.8	16.4	15.1	24.7	11.0	1.4	1.4	4.1
	50歳代(n=53)	26.4	50.9	60.4	7.5	11.3	15.1	20.8	3.8	3.8	-	7.5
	60歳代(n=87)	31.0	57.5	71.3	8.0	14.9	31.0	12.6	8.0	5.7	2.3	5.7
	70歳代(n=103)	35.9	73.8	77.7	6.8	5.8	33.0	7.8	7.8	1.9	3.9	10.7
	80歳代以上(n=42)	23.8	64.3	69.0	7.1	2.4	42.9	2.4	9.5	7.1	4.8	9.5
		愛育委員	（介護支援専門員） ケアマネジャー	図書館	社協だより	社会福祉協議会の窓口	ホーム福祉協議会の	ゴミステーション	わかからない得ていいか	その他	無回答	
性別	男性(n=155)	1.9	8.4	1.9	23.2	1.3	0.6	0.6	2.6	1.3	0.6	
	女性(n=276)	1.1	8.3	2.5	31.9	1.8	0.7	2.2	1.8	1.8	2.2	
年代別	20歳代(n=28)	-	3.6	-	3.6	-	-	-	10.7	7.1	-	
	30歳代(n=43)	-	-	2.3	16.3	-	-	2.3	4.7	-	-	
	40歳代(n=73)	1.4	4.1	1.4	20.5	1.4	-	-	1.4	2.7	1.4	
	50歳代(n=53)	-	17.0	-	28.3	-	-	1.9	1.9	-	1.9	
	60歳代(n=87)	2.3	10.3	1.1	31.0	3.4	3.4	2.3	2.3	1.1	-	
	70歳代(n=103)	1.9	4.9	3.9	40.8	1.0	-	2.9	-	1.9	1.9	
	80歳代以上(n=42)	2.4	26.2	4.8	35.7	2.4	-	-	-	-	4.8	

問18 あなたは、ボランティア活動に参加していますか。〈該当する項目すべてに○〉

- ボランティア活動に参加しているかたずねたところ、「興味があるが、参加していない」と回答した人の割合が最も高く、42.2%となっています。次いで、「関心がない」(21.6%)、「すでに参加している」(19.3%)と続いています。
- 性別にみても、大きな差は見られません。
- 年代別にみると、20歳代の「関心がない」と回答した人の割合が、その他の年代に比べて高くなっています。「興味があるが、参加していない」は、30歳代から年代が高くなるにつれて回答した人の割合が低くなっています。
- 高齢者区分別にみると、「すでに参加している」と回答した人の割合に大きな差はみられませんが、「興味があるが、参加していない」と回答した割合は前期高齢者の方が約1.8倍高くなっています。
- 社会福祉協議会について業務内容を知っている人の、「すでに参加している」と回答した割合が高くなっています。また、社会福祉協議会についてまったく知らない人の、「関心がない」と回答した割合が高くなっています。



(n=450)

ボランティア活動への参加状況（男女別・年代別・高齢者区分別）

（単位：％）

		い す で に 参 加 し て	参 興 加 味 が あ り な い が、	関 心 が な い	そ の 他	無 回 答
性 別	男性(n=155)	20.0	42.6	24.5	10.3	3.2
	女性(n=276)	18.1	41.7	20.3	15.2	6.2
年 代 別	20歳代(n=28)	-	28.6	60.7	10.7	-
	30歳代(n=43)	7.0	53.5	30.2	9.3	-
	40歳代(n=73)	6.8	53.4	21.9	12.3	5.5
	50歳代(n=53)	22.6	50.9	20.8	5.7	3.8
	60歳代(n=87)	28.7	44.8	16.1	6.9	3.4
	70歳代(n=103)	27.2	35.0	17.5	18.4	3.9
	80歳代以上(n=42)	9.5	26.2	11.9	33.3	21.4
前期高齢者（65歳～74歳）(n=89)		24.7	44.9	16.9	12.4	2.2
後期高齢者（75歳以上）(n=82)		22.0	25.6	11.0	30.5	13.4

ボランティア活動への参加状況（社協について知っていること別）

（単位：％）

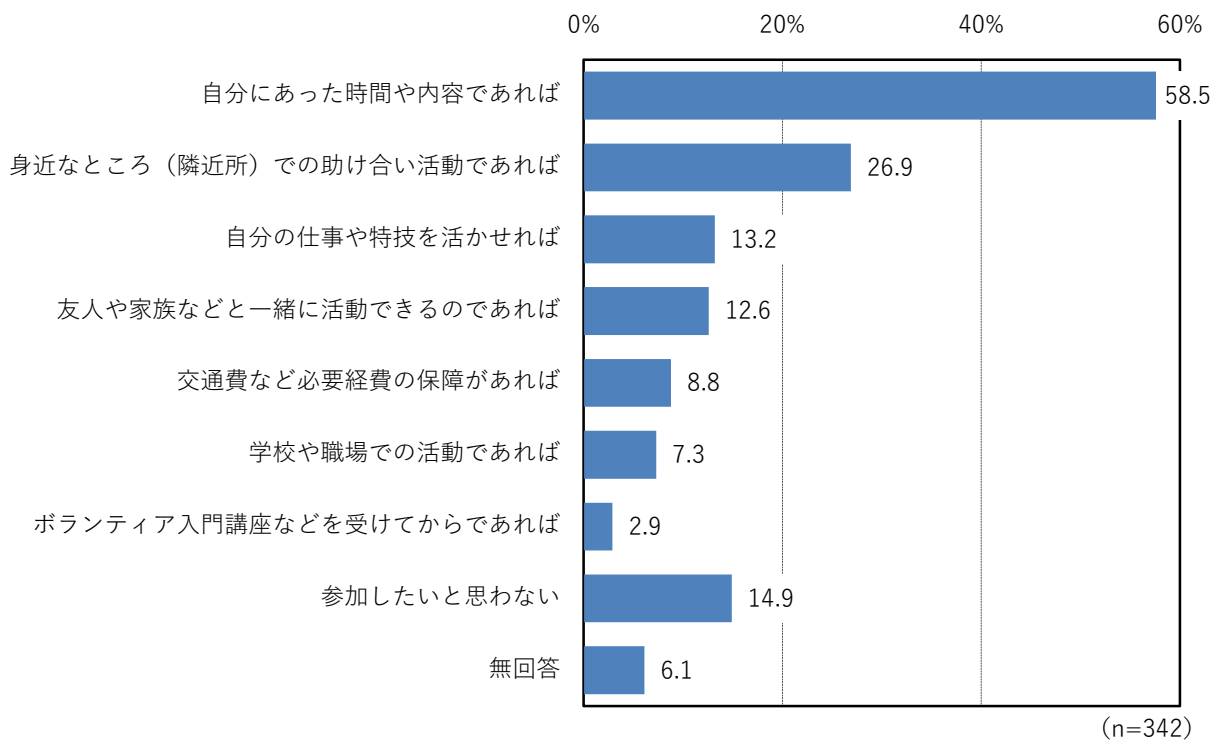
	す で に 参 加 し て い る	参 興 加 味 が あ り な い が、	関 心 が な い	そ の 他	無 回 答
社協の業務内容を知っている (n=143)	33.6	41.3	9.1	13.3	4.9
社協だよりを読んだことがある (n=282)	23.0	43.3	14.5	14.9	5.7
社協の名前を聞いたことがある (n=272)	17.6	46.3	18.8	14.3	4.4
社協facebookを見たことがある (n=10)	20.0	60.0	-	10.0	10.0
社協の事務所の場所を知っている (n=226)	24.3	42.0	12.8	16.8	5.3
まったく知らない (n=44)	2.3	38.6	47.7	6.8	4.5

【問18で「2」から「4」までのいずれかを選択した方に伺います】

問19 あなたは、どのような条件が整えばボランティア活動に参加してみたいと思いますか。

<該当する項目すべてに○>

- 問18で「2. 興味があるが、参加していない」「3. 関心がない」「4. その他」のいずれかを選択した方に、どのような条件が整えばボランティア活動に参加してみたいと思うかたずねたところ、「参加したいと思わない」(14.9%)「無回答」(6.1%)を除く79.0%の人は、条件が整えば参加してみたいと答えています。そのうち、「自分にあった時間や内容であれば」と回答した人の割合が最も高く、58.5%となっています。次いで、「身近なところ(隣近所)での助け合い活動であれば」(26.9%)、「自分の仕事や特技を活かせれば」(13.2%)と続いています。
- 性別にみても、大きな差はみられません。
- 年代別にみると、20~70歳代で「自分にあった時間や内容であれば」と回答した割合が最も高くなっていますが、70歳代では「自分にあった時間や内容であれば」と「身近なところ(隣近所)での助け合い活動であれば」と回答した割合に大きな差はみられなくなり、80歳代以上になると、「身近なところ(隣近所)での助け合い活動であれば」の割合が逆転しています。
- 高齢者区分別にみると、前期高齢者の「自分にあった時間や内容であれば」が、後期高齢者の約2.5倍となっています。



どのような条件が整えばボランティア活動に参加してみたいか（男女別・年代別・高齢者区分別）

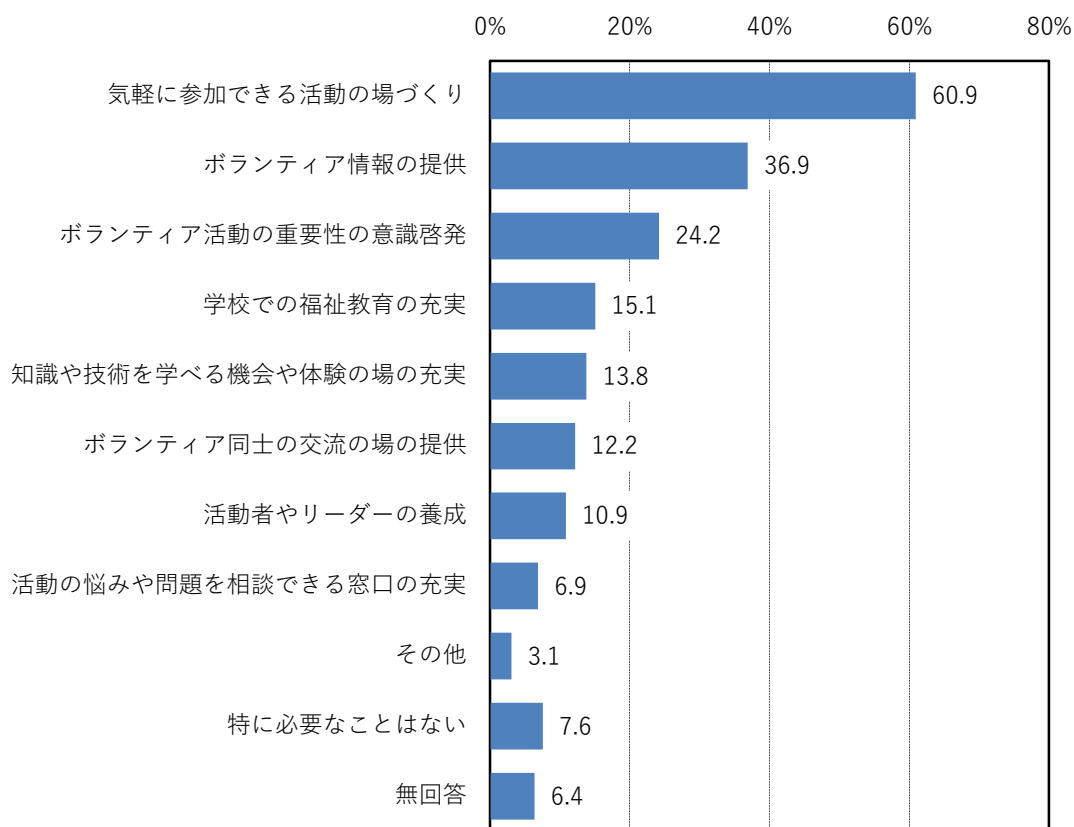
（単位：％）

		あ れ ば あ っ た 時 間 や 内 容 で	自 分 の 仕 事 や 特 技 を	保 障 が あ れ ば	交 通 費 な ど 必 要 経 費 の	を 受 け て か ら で あ れ ば	ボ ラ ン テ ィ ア 入 門 講 座 な ど	活 動 で き る の で あ れ ば	友 人 や 家 族 な ど と 一 緒 に	あ れ ば	学 校 や 職 場 で の 活 動 で	で の 助 け 合 い の 活 動 で あ れ ば	身 近 な こ ろ （ 隣 近 所 ）	参 加 し た い と 思 わ な い	無 回 答
性 別	男性(n=119)	61.3	15.1	7.6	3.4	12.6	7.6	27.7	14.3	5.0					
	女性(n=211)	57.3	12.3	9.5	2.8	12.3	7.6	26.5	14.7	7.1					
年 代 別	20歳代(n=28)	50.0	-	7.1	-	21.4	10.7	-	28.6	3.6					
	30歳代(n=40)	70.0	17.5	12.5	2.5	7.5	7.5	22.5	15.0	2.5					
	40歳代(n=64)	71.9	21.9	14.1	4.7	12.5	18.8	17.2	6.3	3.1					
	50歳代(n=41)	78.0	9.8	17.1	2.4	12.2	4.9	24.4	9.8	2.4					
	60歳代(n=59)	64.4	15.3	8.5	6.8	16.9	3.4	37.3	10.2	6.8					
	70歳代(n=71)	45.1	12.7	2.8	-	11.3	2.8	43.7	12.7	7.0					
	80歳代以上(n=29)	17.2	3.4	-	-	6.9	-	27.6	37.9	24.1					
前期高齢者（65歳～74歳）(n=65)		56.9	10.8	7.7	4.6	12.3	3.1	43.1	12.3	4.6					
後期高齢者（75歳以上）(n=53)		22.6	7.5	-	-	11.3	-	34.0	24.5	17.0					

問20 あなたは、今後ボランティア活動を盛んにするために、特に必要だと思うことは何ですか。

<該当する項目すべてに○>

- 今後ボランティア活動を盛んにするために、特に必要だと思うことをたずねたところ、「気軽に参加できる活動の場づくり」と回答した人の割合が最も高く、60.9%となっています。次いで、「ボランティア情報の提供」(36.9%)、「ボランティア活動の重要性の意識啓発」(24.2%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「ボランティア活動の重要性の意識啓発」「ボランティア情報の提供」と回答した割合が高くなっています。
- 年代別にみると、全ての年代で「気軽に参加できる活動の場づくり」と回答した割合が最も高くなっています。また、「ボランティア活動の重要性の意識啓発」は年代が高くなるにつれて、回答した割合が高くなり、「ボランティア情報の提供」は年代が低くなるにつれて、回答した割合が高くなっています。



(n=450)

ボランティア活動を盛んにするために、特に必要だと思うこと（男女別・年代別・高齢者区分別）

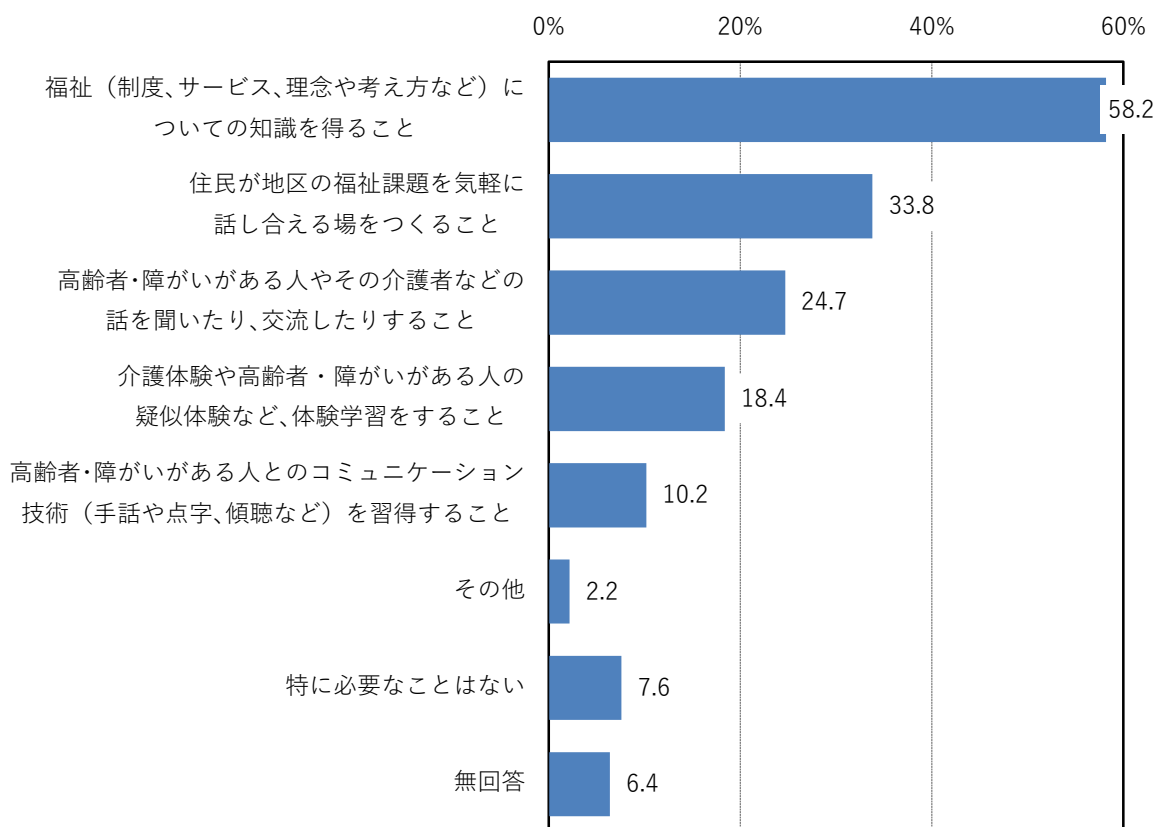
（単位：％）

		性の意識啓発	ボランティア活動の重要性	場づくりに参加できる活動の	気軽に参加できる活動の	ボランティア情報の提供	学校での福祉教育の充実	や体験の場の充実	知識や技術の学べる機会	できる窓口の充実	活動の悩みや問題を相談	の場の提供	ボランティア同士の交流	活動者やリーダーの養成	その他	特に必要なことはない	無回答
性別	男性(n=155)	32.3	63.2	43.2	14.2	15.5	1.9	14.2	14.8	2.6	3.9	5.8					
	女性(n=276)	20.3	61.6	34.1	15.6	13.4	8.0	10.9	8.7	3.3	9.8	6.2					
年代別	20歳代(n=28)	14.3	64.3	39.3	3.6	14.3	3.6	7.1	10.7	3.6	14.3	-					
	30歳代(n=43)	20.9	67.4	48.8	25.6	16.3	4.7	7.0	14.0	2.3	7.0	-					
	40歳代(n=73)	21.9	56.2	43.8	9.6	15.1	8.2	8.2	8.2	4.1	6.8	4.1					
	50歳代(n=53)	24.5	58.5	39.6	22.6	18.9	11.3	20.8	11.3	-	5.7	3.8					
	60歳代(n=87)	25.3	70.1	36.8	12.6	12.6	1.1	13.8	4.6	3.4	5.7	3.4					
	70歳代(n=103)	26.2	60.2	30.1	14.6	13.6	7.8	14.6	14.6	2.9	8.7	9.7					
	80歳代以上(n=42)	35.7	57.1	26.2	11.9	9.5	4.8	9.5	11.9	4.8	9.5	19.0					
前期高齢者（65歳～74歳）		32.6	62.9	39.3	14.6	14.6	5.6	18.0	11.2	3.4	6.7	4.5					
後期高齢者（75歳以上）		31.7	56.1	24.4	14.6	9.8	6.1	12.2	13.4	4.9	8.5	15.9					

問2 1 あなたは、「福祉」について理解を深めるためには、どんなことが必要だと思いますか。

<あなたの考えに近い項目すべてに○>

- 「福祉」について理解を深めるためには、どんなことが必要だと思うかたずねたところ、「福祉（制度、サービス、理念や考え方など）についての知識を得ること」と回答した人の割合が最も高く、58.2%となっています。次いで、「住民が地区の福祉課題を気軽に話し合える場をつくること」（33.8%）、「高齢者・障がいがある人やその介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」（24.7%）と続いています。
- 性別にみると、女性の「高齢者・障がいがある人やその介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、30歳代の「高齢者・障がいがある人やその介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」、70歳代の「住民が地区の福祉課題を気軽に話し合える場をつくること」と回答した人の割合が高くなっています。



(n=450)

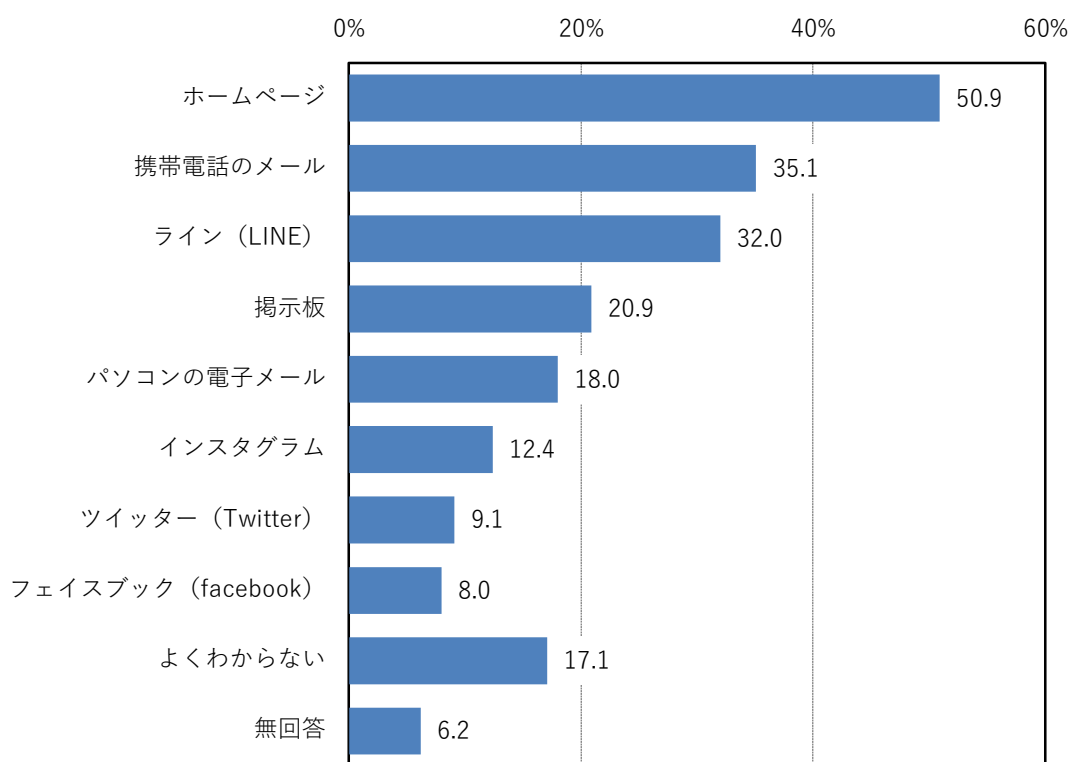
「福祉」への理解を深めるために必要だと思うこと（男女別・年代別）

(単位：%)

		得考福	すの介	交のそ	高の点	コミ高	話住	そ	特	無
		るえ社	るの護	流の介	齡の者	字ミ齡	し民	他	に	回
		こと	こと	した	者・障	、傾聴	合が		必要	答
		な	似	たり	が	な	え地		な	
		ど	体	す	い	シ	る区		こ	
		）	験	る	が	ョ	場の		と	
		に	な	こ	の	を	福		は	
		つ	ど	と	話	習	祉		な	
		い	者	と	あ	得	課		い	
		て	・障	を	る	す	題			
		の	が	聞	人	る	を			
		知	い	い	や	手	気			
		識	が	たり	り	話	軽			
		を	あ	、	こ	や	に			
性別	男性(n=155)	63.2	20.0	17.4	9.0	37.4	2.6	7.7	4.5	
	女性(n=276)	56.2	18.1	27.5	11.2	32.2	1.8	6.9	7.6	
年代別	20歳代(n=28)	60.7	25.0	10.7	10.7	21.4	3.6	14.3	-	
	30歳代(n=43)	60.5	16.3	37.2	11.6	30.2	4.7	9.3	2.3	
	40歳代(n=73)	64.4	26.0	28.8	13.7	23.3	1.4	2.7	9.6	
	50歳代(n=53)	56.6	24.5	26.4	18.9	28.3	1.9	5.7	5.7	
	60歳代(n=87)	63.2	17.2	25.3	6.9	35.6	2.3	6.9	4.6	
	70歳代(n=103)	50.5	14.6	14.6	6.8	45.6	1.0	7.8	8.7	
	80歳代以上(n=42)	59.5	14.3	26.2	4.8	33.3	4.8	7.1	11.9	

問22 あなたは、「福祉」情報を得るために、どのようなネットワークサービス（情報媒体）が活用できますか。＜該当する項目すべてに○＞

- 「福祉」情報を得るために、どのようなネットワークサービス（情報媒体）が活用できるかたずねたところ、「ホームページ」と回答した人の割合が最も高く、50.9%となっています。次いで、「携帯電話のメール」(35.1%)、「ライン（LINE）」(32.0%)と続いています。
- 性別にみると、女性の「携帯電話のメール」「ライン（LINE）」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代の「ツイッター（Twitter）」、20歳代・30歳代の「インスタグラム」「ライン（LINE）」、40～60歳代の「携帯電話のメール」と回答した人の割合が、他の年代に比べ高くなっています。また、70歳代・80歳代の「よくわからない」と回答した割合が高くなっています。



(n=450)

「福祉」情報を得るため活用できるネットワークサービス（情報媒体）（男女別・年代別）

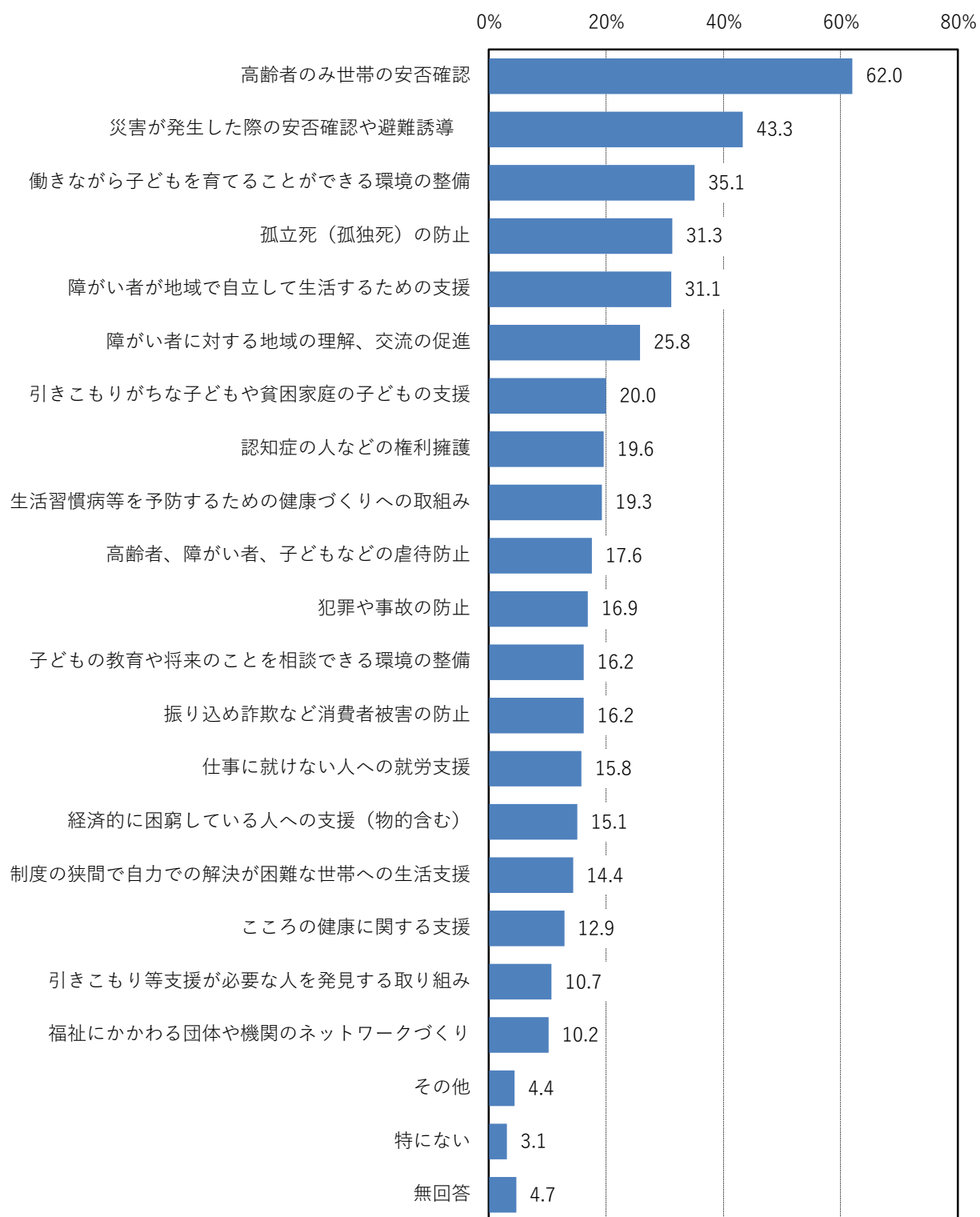
（単位：％）

		ホーム ページ	パソコン の電子 メール	携帯 電話の メール	掲 示 板	イン スタ グラ ム	ライ ン （LINE）	（ツイ ッター）	（フェイス ブック）	よく わか らない	無 回 答
性別	男性(n=155)	52.3	21.9	30.3	21.9	9.0	28.4	9.0	8.4	17.4	5.2
	女性(n=276)	51.8	15.9	38.4	19.9	14.9	34.8	9.8	7.6	16.3	6.5
年代別	20歳代(n=28)	78.6	17.9	21.4	7.1	39.3	53.6	46.4	10.7	10.7	-
	30歳代(n=43)	72.1	14.0	32.6	20.9	34.9	55.8	14.0	18.6	9.3	-
	40歳代(n=73)	80.8	23.3	49.3	17.8	19.2	49.3	13.7	15.1	5.5	4.1
	50歳代(n=53)	66.0	32.1	49.1	13.2	13.2	43.4	13.2	9.4	9.4	3.8
	60歳代(n=87)	50.6	27.6	44.8	20.7	6.9	36.8	4.6	6.9	8.0	4.6
	70歳代(n=103)	25.2	7.8	22.3	32.0	1.9	7.8	1.0	1.9	27.2	11.7
	80歳代以上(n=42)	14.3	4.8	19.0	19.0	-	4.8	-	-	47.6	14.3

4. 早島町全体の福祉や社会福祉協議会、「ほっとプラン」について

問23 地域の福祉を充実するために、早島町全体で優先的に解決しなければならない課題は何だと思
いますか。〈該当する項目すべてに○〉

- 地域の福祉を充実するために、早島町全体で優先的に解決しなければならない課題は何だと思
うかた
ずねたところ、「特にない」(3.1%)「無回答」(4.7%)を除く92.2%の人が、優先的に解決すべき課
題があると答えています。そのうち、「高齢者のみ世帯の安否確認」と回答した人の割合が最も高く、
62.0%となっています。次いで、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」(43.3%)、「働きながら
子どもを育てることができる環境の整備」(35.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「高齢者のみ世帯の安否確認」「働きながら子どもを育てることができる環境の
整備」と回答した人の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代～40歳代の「働きながら子どもを育てることができる環境の整備」「子ども
の教育や将来のことを相談できる環境の整備」、20歳代の「高齢者、障がい者、子どもなどの虐待防
止」、60歳代の「認知症の人などの権利擁護」、80歳代以上の「障がい者が地域で自立して生活する
ための支援」「振り込め詐欺など消費者被害の防止」と回答した人の割合が高くなっています。



(n=450)

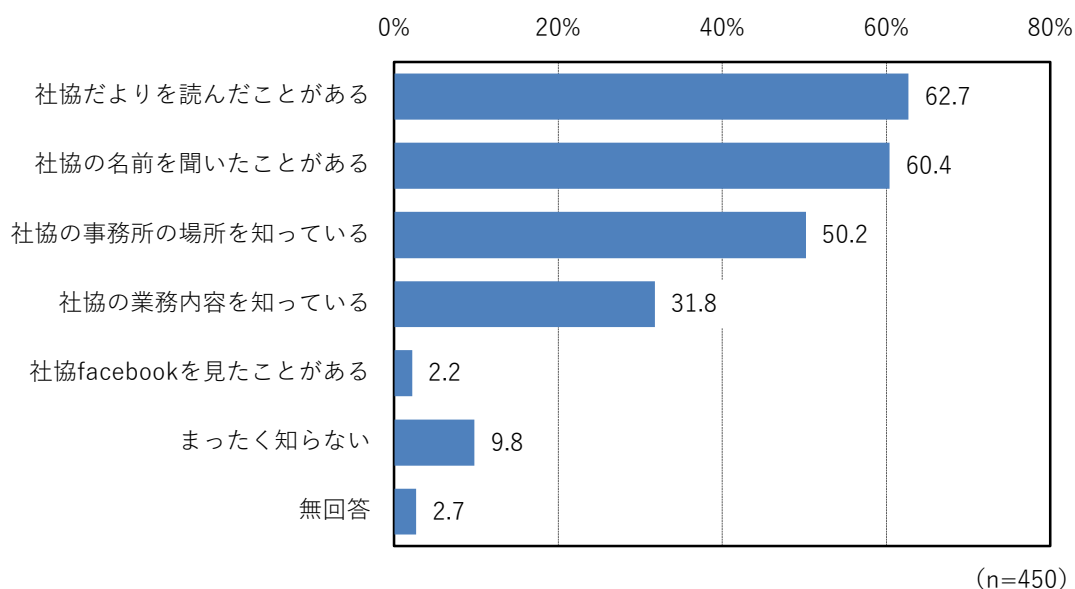
地域福祉のために優先的に解決しなければならないと思う課題（男女別・年代別）

（単位：％）

		高齢者のみ世帯の安否確認	認知症の人などの権利擁護	生活が困難な地域での自立支援	障がい者に対する地域の取組み	生活習慣病等予防への取組み	働きがちな子どもを育てる環境の整備	子ども教育や将来の準備	貧困家庭の子ども支援	引きこもりがちな子ども	高齢者、虐待防止、子ども	このころの健康に関する支援	引きこもり等支援が必要な
性別	男性(n=155)	67.7	21.9	29.7	28.4	18.7	39.4	17.4	20.0	14.8	10.3	7.7	
	女性(n=276)	59.8	19.2	32.6	24.6	20.3	34.1	15.9	20.7	18.8	14.1	12.0	
年代別	20歳代(n=28)	60.7	17.9	21.4	7.1	14.3	46.4	21.4	14.3	28.6	14.3	7.1	
	30歳代(n=43)	48.8	16.3	27.9	14.0	16.3	58.1	27.9	11.6	16.3	14.0	7.0	
	40歳代(n=73)	67.1	19.2	32.9	26.0	15.1	46.6	28.8	19.2	16.4	11.0	11.0	
	50歳代(n=53)	49.1	13.2	22.6	30.2	15.1	17.0	3.8	22.6	26.4	15.1	7.5	
	60歳代(n=87)	69.0	29.9	36.8	31.0	24.1	39.1	12.6	27.6	18.4	12.6	11.5	
	70歳代(n=103)	64.1	16.5	27.2	25.2	25.2	22.3	11.7	17.5	10.7	10.7	11.7	
	80歳代以上(n=42)	64.3	23.8	42.9	31.0	16.7	35.7	14.3	19.0	19.0	11.9	16.7	
		孤立死（孤独死）の防止	犯罪や事故の防止	や災害誘導した際の安否確認	の振り止め詐欺など消費者被害	困難な世帯への自力での解決が	就労支援につけない人への	支援助（物的含む）	経済的に困窮している人への	福祉にかかわる団体や機関の	その他	特にない	無回答
性別	男性(n=155)	31.6	16.1	44.5	16.1	15.5	19.4	17.4	13.5	3.9	3.2	-	
	女性(n=276)	30.8	17.4	43.1	16.7	14.5	13.4	13.4	8.7	5.1	3.3	5.8	
年代別	20歳代(n=28)	25.0	14.3	28.6	3.6	7.1	17.9	14.3	14.3	3.6	7.1	-	
	30歳代(n=43)	25.6	14.0	46.5	9.3	11.6	14.0	18.6	9.3	11.6	7.0	-	
	40歳代(n=73)	35.6	20.5	43.8	15.1	15.1	20.5	15.1	11.0	6.8	-	1.4	
	50歳代(n=53)	28.3	24.5	32.1	11.3	13.2	13.2	17.0	9.4	3.8	3.8	3.8	
	60歳代(n=87)	32.2	11.5	47.1	17.2	12.6	8.0	13.8	10.3	3.4	2.3	1.1	
	70歳代(n=103)	31.1	16.5	42.7	18.4	17.5	14.6	11.7	7.8	3.9	2.9	7.8	
	80歳代以上(n=42)	33.3	14.3	52.4	33.3	19.0	23.8	21.4	16.7	-	4.8	9.5	

問24 あなたは、早島町社会福祉協議会（社協）をご存知ですか。〈該当する項目すべてに○〉

- 早島町社会福祉協議会（社協）をご存知ですかとたずねたところ、「社協だよりを読んだことがある」と回答した人の割合が最も高く、62.7%となっています。次いで、「社協の名前を聞いたことがある」（60.4%）、「社協の事務所の場所を知っている」（50.2%）と続いています。
- 性別にみると、女性の「社協だよりを読んだことがある」「社協の名前を聞いたことがある」「社協の事務所の場所を知っている」と回答した割合が、男性に比べて高くなっています。年代別にみると、40歳代・60歳代の「社協の名前を聞いたことがある」と回答した割合が高くなっています。また、20歳代から70歳代をピークに年代が高くなるにつれて、何らかの形で社会福祉協議会を知っていると回答した割合が高くなっています。



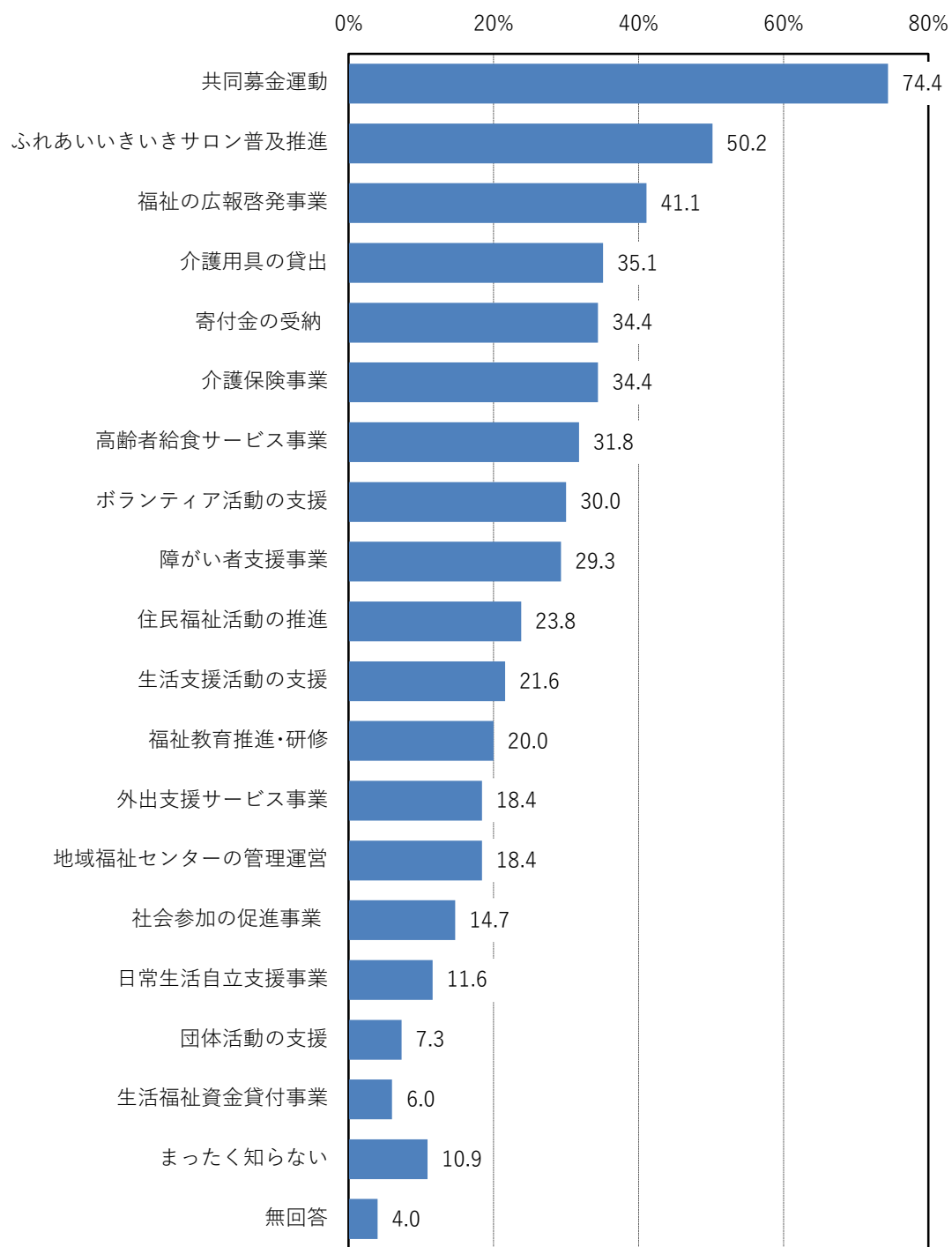
早島町社会福祉協議会の認知度（男女別・年代別）

（単位：％）

		知社 つ協 ての い業 る務 内 容 を	こ社 と協 がだ あよ るり を 読 ん だ	こ社 と協 がの あ名 る前 を 聞 い た	見社 た協 こ f と a が c あ e る b o o k を	知社 つ協 ての い事 る務 所 の 場 所 を	ま つ た く 知 ら な い	無 回 答
性 別	男性(n=155)	32.3	58.7	56.8	1.9	45.2	12.3	1.3
	女性(n=276)	32.2	66.3	62.7	2.2	54.7	8.7	2.5
年 代 別	20歳代(n=28)	3.6	7.1	35.7	-	10.7	46.4	3.6
	30歳代(n=43)	14.0	41.9	44.2	2.3	27.9	25.6	-
	40歳代(n=73)	17.8	56.2	69.9	1.4	43.8	8.2	-
	50歳代(n=53)	28.3	71.7	54.7	1.9	49.1	5.7	1.9
	60歳代(n=87)	49.4	73.6	69.0	2.3	65.5	6.9	1.1
	70歳代(n=103)	44.7	78.6	61.2	1.9	64.1	2.9	3.9
	80歳代以上(n=42)	35.7	66.7	66.7	4.8	57.1	2.4	7.1

問25 早島町社会福祉協議会では、様々な福祉事業活動を行っています。あなたが知っている事業活動は次のうちどれですか。〈該当する項目すべてに○〉

- 早島町社会福祉協議会が行っている様々な福祉事業活動のうち、知っている事業活動をたずねたところ、「まったく知らない」(10.9%)、「無回答」(4.0%)を除く85.1%の人は、何らかの社会福祉協議会の事業活動について知っていると回答しています。そのうち、「共同募金運動」と回答した人の割合が最も高く、74.4%となっています。次いで、「ふれあいいきいきサロン普及推進」(50.2%)、「福祉の広報啓発事業」(41.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「住民福祉活動の推進」、女性の「ふれあいいきいきサロン普及推進」「介護用具の貸出」と回答した割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代では半数の人が「まったく知らない」と回答しています。また、多くの項目で20歳代から60歳代または70歳代まで年代が高くなるにつれて回答割合が高くなっています。



(n=450)

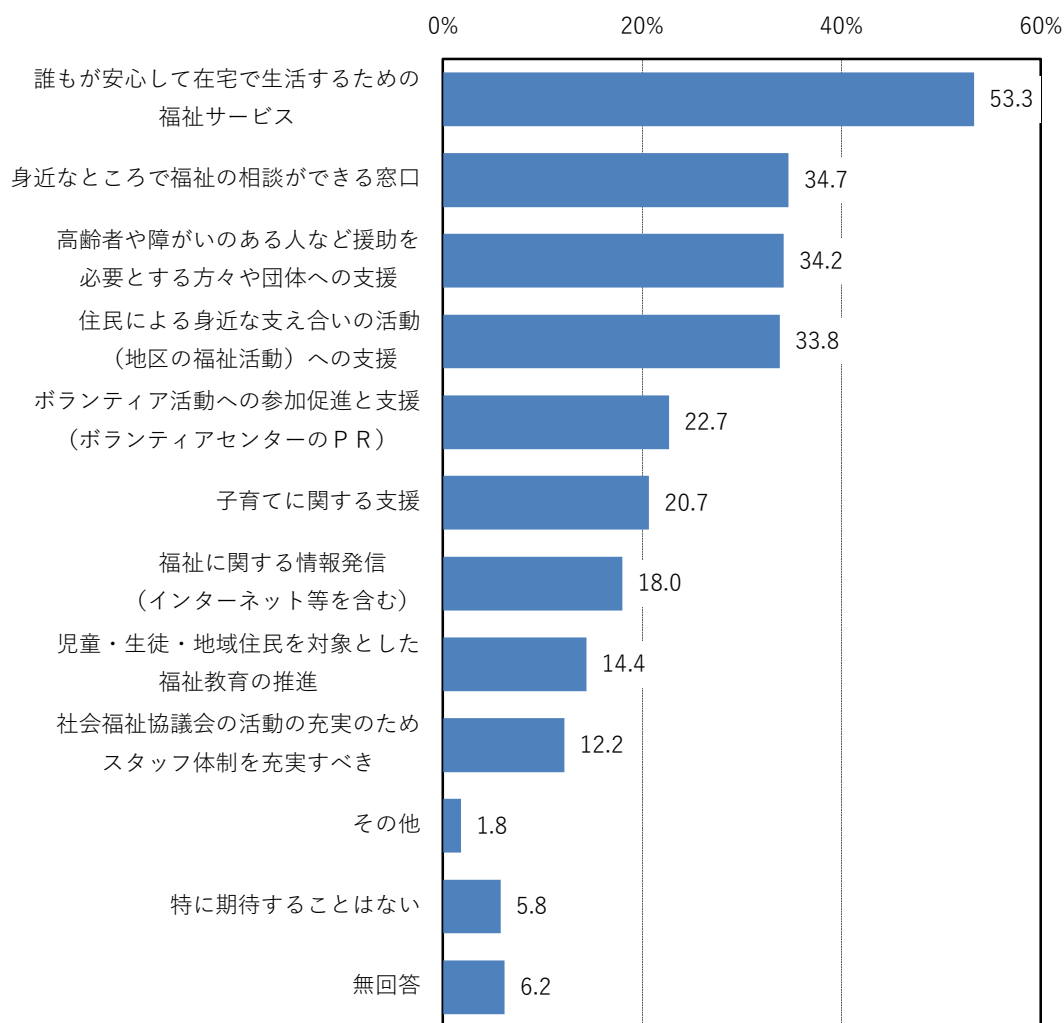
早島町社会福祉協議会が行っている事業活動の認知度（男女別・年代別）

（単位：％）

		共同募金運動	寄付金の受納	ボランティア活動の支援	福祉教育推進・研修	福祉の広報啓発事業	普及推進 ふれあい いきいき サロン	社会参加の促進事業	障がい者支援事業	住民福祉活動の推進	日常生活自立支援事業
性別	男性(n=155)	74.2	33.5	31.6	16.1	40.6	40.6	15.5	29.7	28.4	12.3
	女性(n=276)	75.7	35.9	29.7	22.5	42.4	55.4	14.9	29.0	21.7	11.6
年代別	20歳代(n=28)	35.7	10.7	14.3	-	-	21.4	-	3.6	-	-
	30歳代(n=43)	46.5	16.3	18.6	16.3	25.6	34.9	9.3	20.9	14.0	9.3
	40歳代(n=73)	74.0	17.8	26.0	19.2	38.4	50.7	8.2	31.5	11.0	13.7
	50歳代(n=53)	81.1	32.1	26.4	18.9	37.7	52.8	5.7	26.4	20.8	7.5
	60歳代(n=87)	89.7	50.6	39.1	24.1	59.8	57.5	25.3	34.5	33.3	20.7
	70歳代(n=103)	86.4	49.5	38.8	26.2	52.4	62.1	23.3	35.9	37.9	14.6
	80歳代以上(n=42)	66.7	33.3	23.8	16.7	33.3	42.9	14.3	28.6	23.8	2.4
		生活福祉資金貸付事業	高齢者給食サービス事業	外出支援サービス事業	介護保険事業	介護用具の貸出	生活支援活動の支援	団体活動の支援	地域福祉センターの 管理運営	まったく知らない	無回答
性別	男性(n=155)	7.1	24.5	18.7	30.3	28.4	19.4	7.7	17.4	16.1	-
	女性(n=276)	5.4	35.9	19.2	38.0	39.9	22.8	7.6	19.2	8.3	5.1
年代別	20歳代(n=28)	3.6	3.6	7.1	10.7	3.6	-	-	3.6	50.0	-
	30歳代(n=43)	7.0	16.3	11.6	16.3	14.0	9.3	4.7	9.3	32.6	7.0
	40歳代(n=73)	6.8	16.4	11.0	23.3	28.8	15.1	6.8	17.8	9.6	1.4
	50歳代(n=53)	3.8	35.8	9.4	50.9	34.0	20.8	3.8	11.3	3.8	3.8
	60歳代(n=87)	9.2	41.4	32.2	51.7	52.9	31.0	13.8	31.0	3.4	2.3
	70歳代(n=103)	3.9	42.7	24.3	38.8	44.7	31.1	10.7	21.4	3.9	3.9
	80歳代以上(n=42)	9.5	42.9	19.0	28.6	40.5	21.4	2.4	11.9	7.1	4.8

問 2 6 住民主体の「地域福祉」に取り組むことがますます大切になっていますが、あなたは早島町社会福祉協議会に対してどのような役割を期待しますか。〈該当する項目すべてに○〉

- 早島町社会福祉協議会に対してどのような役割を期待するかたずねたところ、「特に期待することはない」(5.8%)「無回答」(6.2%)を除く88.0%の人が、何らかの役割を期待していると回答しています。期待する役割として、「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス」と回答した人の割合が最も高く、53.3%となっています。次いで、「身近なところで福祉の相談ができる窓口」(34.7%)、「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々や団体への支援」(34.2%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「ボランティア活動への参加促進と支援(ボランティアセンターのPR)」「住民による身近な支え合いの活動(地区の福祉活動)への支援」「福祉に関する情報発信(インターネット等を含む)」と回答した人の割合が、女性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、30歳代の「児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の推進」「子育てに関する支援」、60歳代の「身近なところで福祉の相談ができる窓口」と回答した人の割合が高くなっています。一方、20歳代の「住民による身近な支え合いの活動(地区の福祉活動)への支援」「身近なところで福祉の相談ができる窓口」、30歳代の「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス」、40歳代の「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々や団体への支援」と回答した割合が、その他の年代に比べて低くなっています。



(n=450)

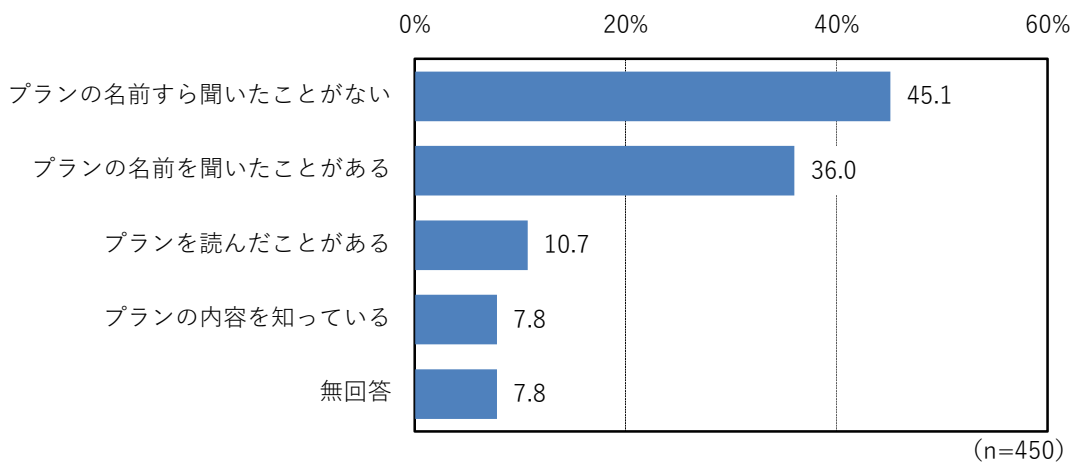
早島町社会福祉協議会に対して期待する役割（男女別・年代別）

（単位：％）

		支援（ボランティア活動への参加促進とPR）	（住民による身近な支え合いの活動）	福祉サービス（在宅で生活するための）	窓口（身近なところで福祉の相談ができる）	福祉教育の推進（地域住民を対象とした）	（福祉に関する情報発信を含む）	子育てに関する支援	必要とする方々や団体への支援	高齢者や障がいのある人など援助を	スタツフ体制を充実すべき	社会福祉協議会の活動の充実のため	その他	特に期待することはない	無回答
性別	男性(n=155)	32.3	40.0	52.3	39.4	13.5	25.8	24.5	36.8	16.1	1.9	4.5	1.3		
	女性(n=276)	17.8	30.8	54.7	32.6	15.2	14.5	19.6	32.6	10.9	1.8	6.2	8.0		
年代別	20歳代(n=28)	17.9	14.3	53.6	10.7	10.7	3.6	32.1	32.1	10.7	-	17.9	-		
	30歳代(n=43)	14.0	30.2	34.9	23.3	34.9	27.9	53.5	37.2	9.3	4.7	11.6	-		
	40歳代(n=73)	20.5	28.8	42.5	38.4	17.8	23.3	27.4	26.0	5.5	2.7	2.7	5.5		
	50歳代(n=53)	15.1	32.1	49.1	26.4	9.4	13.2	18.9	39.6	7.5	1.9	3.8	5.7		
	60歳代(n=87)	29.9	44.8	64.4	46.0	12.6	20.7	17.2	35.6	10.3	1.1	1.1	4.6		
	70歳代(n=103)	27.2	37.9	61.2	36.9	6.8	13.6	8.7	35.0	19.4	1.0	6.8	7.8		
	80歳代以上(n=42)	23.8	31.0	59.5	42.9	16.7	23.8	11.9	33.3	23.8	2.4	4.8	9.5		

問27 あなたは、住民や福祉関係者による福祉行動計画(平成27年度から5か年間)である『はやしまほっとプラン(早島町地域福祉活動計画)』をご存知ですか。〈該当する項目すべてに○〉

- 『はやしまほっとプラン』をご存知ですかとたずねたところ、「プランの名前すら聞いたことがない」と回答した人の割合が最も高く、45.1%となっています。次いで、「プランの名前を聞いたことがある」(36.0%)、「プランを読んだことがある」(10.7%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「プランの名前すら聞いたことがない」と回答した人の割合が、女性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、「プランの名前を聞いたことがある」「読んだことがある」「内容を知っている」人の割合は、年代が高くなるにつれて概ね高くなっています。



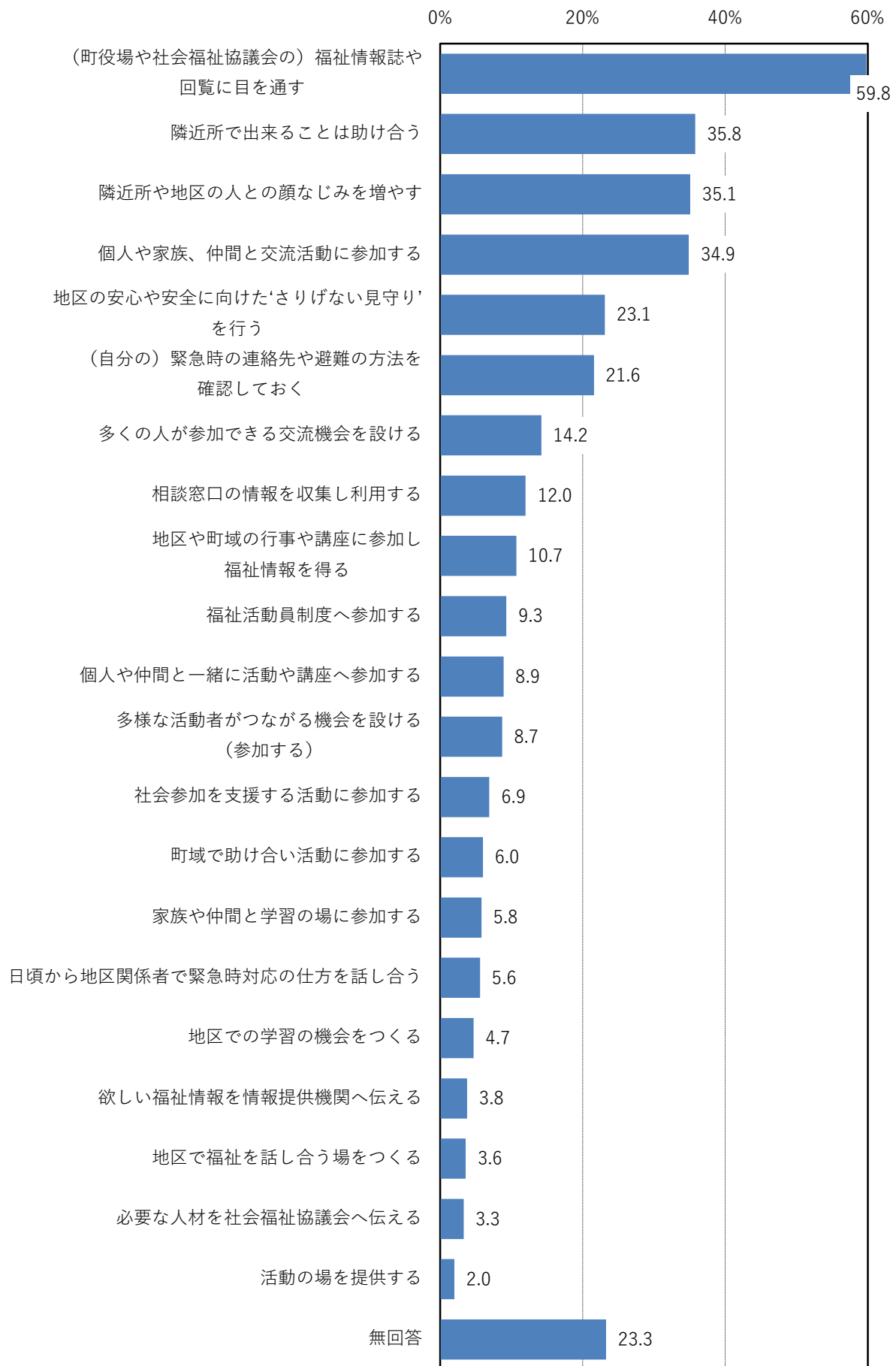
『はやしまほっとプラン(早島町地域福祉活動計画)』の認知度 (男女別・年代別)

(単位: %)

		知 つ て い る 内 容 を	こ と が あ る 読 んだ	聞 いた この 名前 があ る	聞 いた この 名前 が な い	無 回 答
性 別	男性(n=155)	7.7	9.0	31.0	52.3	4.5
	女性(n=276)	7.2	11.6	39.9	41.7	8.3
年 代 別	20歳代(n=28)	-	3.6	28.6	67.9	-
	30歳代(n=43)	-	7.0	18.6	76.7	-
	40歳代(n=73)	5.5	5.5	39.7	49.3	4.1
	50歳代(n=53)	5.7	17.0	30.2	50.9	7.5
	60歳代(n=87)	13.8	17.2	36.8	43.7	3.4
	70歳代(n=103)	6.8	12.6	41.7	33.0	11.7
	80歳代以上(n=42)	14.3	7.1	45.2	21.4	19.0

問28 『はやしまほっとプラン』では、「住民の方や地域（地区や団体）で進めること」として、個人でも取り組める目標を明示しています。あなたやご家族、地区等での取り組み状況を教えてください。
<心掛けている項目や取り組まれている項目すべてに○>

- 『はやしまほっとプラン』で明示されている個人でも取り組める目標について、回答者やご家族、地区等での取り組み状況をたずねたところ、「(町役場や社会福祉協議会の)福祉情報誌や回覧に目を通す」と回答した人の割合が最も高く、59.8%となっています。次いで、「隣近所で出来ることは助け合う」(35.8%)、「隣近所や地区の人との顔なじみを増やす」(35.1%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「多くの人に参加できる交流機会を設ける」と回答した人の割合が、女性に比べて高くなっています。一方、女性の「(自分の)緊急時の連絡先や避難の方法を確認しておく」と回答した人の割合が、男性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「(町役場や社会福祉協議会の)福祉情報誌や回覧に目を通す」と回答した割合が最も高くなっています。また、「日頃から地区関係者で緊急時対応の仕方を話し合う」「地区で福祉を話し合う場をつくる」「欲しい福祉情報を情報提供機関へ伝える」「地区での学習の機会をつくる」「家族や仲間と学習の場に参加する」「活動の場を提供する」「必要な人材を社会福祉協議会へ伝える」といった項目は、すべての年代で回答が1割を切っています。



(n=450)

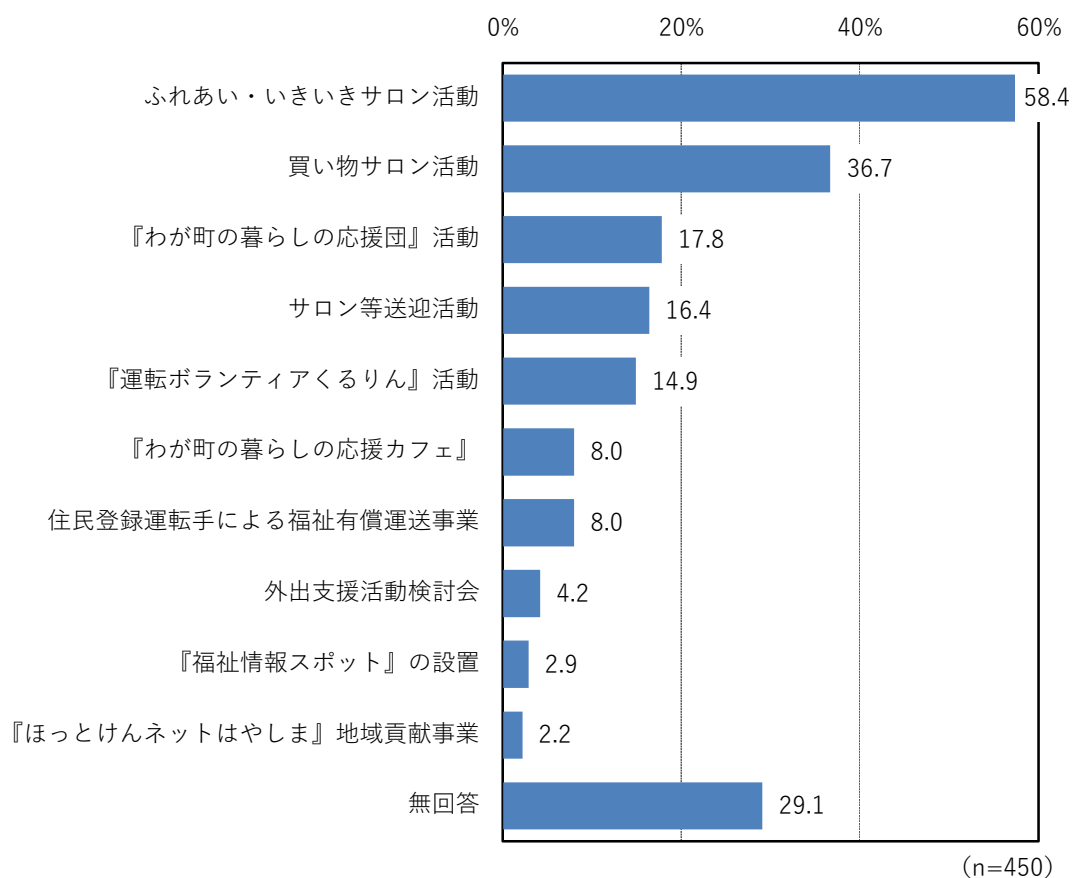
『はやしまほっとプラン』の個人目標の取組状況（男女別・年代別）

（単位：％）

		利用相 談窓 口の 情 報 を 収 集 し	福 祉 活 動 員 制 度 へ 参 加 す る	顔 近 所 や 地 区 の 人 と の 交 渉 を 増 や す	地 区 の 安 心 や 安 全 に 向 け た う の 取 組 を 行 う	（自 分 の 方 法 を 確 認 し て お く 先 や 他 の 方 を 確 認 し て お く	緊 急 時 対 応 の 仕 方 を 話 し 合 う	日 頃 か ら 地 区 関 係 者 と 話 し 合 う	地 区 で 福 祉 を 話 し 合 う 場 を つ く る	隣 近 所 で 出 来 る こ と は 助 け 合 う	町 域 で 助 け 合 い 活 動 に 参 加 す る	参 加 す る 家 族 、 仲 間 と 交 流 活 動 に	多 く の 人 が 参 加 す る 交 流 機 会 を 設 け る
性 別	男性(n=155)	12.3	6.5	34.2	25.2	17.4	4.5	5.2	34.8	8.4	34.2	18.7	
	女性(n=276)	12.0	10.9	35.9	22.5	23.9	5.8	2.2	35.9	4.7	35.9	11.6	
年 代 別	20歳代(n=28)	7.1	3.6	10.7	7.1	17.9	3.6	-	25.0	3.6	25.0	-	
	30歳代(n=43)	9.3	-	44.2	20.9	11.6	2.3	2.3	20.9	2.3	32.6	9.3	
	40歳代(n=73)	5.5	4.1	37.0	11.0	23.3	4.1	-	31.5	6.8	27.4	12.3	
	50歳代(n=53)	15.1	15.1	39.6	17.0	15.1	-	1.9	24.5	1.9	43.4	3.8	
	60歳代(n=87)	14.9	17.2	40.2	32.2	24.1	9.2	4.6	41.4	11.5	40.2	16.1	
	70歳代(n=103)	14.6	8.7	34.0	34.0	22.3	6.8	5.8	44.7	4.9	40.8	19.4	
	80歳代以上(n=42)	11.9	7.1	28.6	21.4	31.0	4.8	4.8	40.5	7.1	21.4	23.8	
			参 加 す る 社 会 を 支 援 す る 活 動 に	機 会 を 設 け る （ 参 加 す る ）	福 祉 情 報 誌 や 回 覧 に 目 を 通 す （ ）	参 加 し た 福 祉 情 報 を 得 る 講 座 に	提 供 し た 機 関 へ 伝 え る 情 報	地 区 で の 学 習 の 機 会 を つ く る	参 加 す る 家 族 や 仲 間 と 学 習 の 場 に	講 座 へ 参 加 す る 一 緒 に 活 動 や	活 動 の 場 を 提 供 す る	伝 え る 人 材 を 社 会 福 祉 協 議 会 へ	無 回 答
性 別	男性(n=155)	9.7	11.0	59.4	9.7	5.2	6.5	6.5	9.7	2.6	2.6	20.0	
	女性(n=276)	5.4	7.6	61.2	10.9	2.9	3.6	5.8	8.7	1.8	3.6	23.9	
年 代	20歳代(n=28)	7.1	3.6	39.3	-	3.6	7.1	-	3.6	3.6	-	39.3	
	30歳代(n=43)	2.3	11.6	44.2	4.7	4.7	2.3	7.0	7.0	-	7.0	30.2	
	40歳代(n=73)	2.7	4.1	57.5	4.1	-	2.7	8.2	2.7	1.4	1.4	19.2	
	50歳代(n=53)	9.4	7.5	66.0	9.4	-	1.9	-	3.8	1.9	1.9	24.5	
	60歳代(n=87)	9.2	11.5	69.0	17.2	9.2	6.9	6.9	11.5	5.7	5.7	18.4	
	70歳代(n=103)	5.8	9.7	66.0	13.6	3.9	2.9	6.8	12.6	-	1.9	19.4	
	80歳代以上(n=42)	14.3	9.5	64.3	11.9	-	4.8	4.8	16.7	-	2.4	26.2	

問29 『はやしまほっとプラン』が策定されて以降、新たな住民や団体協働の福祉活動が行われています。あなたが知っている活動は次のうちどれですか。〈該当する項目すべてに○〉

- 住民や団体協働の福祉活動について、知っている活動をたずねたところ、「ふれあい・いきいきサロン活動」と回答した人の割合が最も高く、58.4%となっています。次いで、「買い物サロン活動」(36.7%)、「『わが町の暮らしの応援団』活動」(17.8%)と続いています。
- 性別にみると、女性の「ふれあい・いきいきサロン活動」「買い物サロン活動」と回答した割合が、男性に比べて高くなっています。
- 年代別にみると、「『福祉情報スポット』の設置」を除くすべての福祉活動において、60歳代の回答した割合が最も高くなっています。



新たな住民や団体協働の福祉活動の認知度（男女別・年代別）

（単位：％）

		ふれあい・いきいきサロン活動	『わが町の暮らしの応援カフェ』	活動『わが町の暮らしの応援団』	買い物サロン活動	外出支援活動検討会	活動『運動転ボランティアくるりん』	サロン等送迎活動	福祉有償運送事業	住民登録運送手による	地域貢献事業	『ほつとけんネットはやしま』	『福祉情報スポット』の設置	無回答
性別	男性(n=155)	53.5	9.7	16.8	26.5	5.8	14.2	16.8	10.3	2.6	3.2	32.9		
	女性(n=276)	62.7	6.5	18.5	42.8	3.6	15.6	15.6	7.2	2.2	2.5	25.7		
年代別	20歳代(n=28)	46.4	-	-	7.1	-	14.3	3.6	3.6	-	3.6	46.4		
	30歳代(n=43)	34.9	2.3	7.0	18.6	-	4.7	2.3	2.3	-	2.3	51.2		
	40歳代(n=73)	52.1	2.7	6.8	30.1	2.7	9.6	6.8	2.7	1.4	1.4	34.2		
	50歳代(n=53)	64.2	3.8	5.7	35.8	-	5.7	7.5	5.7	1.9	1.9	24.5		
	60歳代(n=87)	72.4	13.8	29.9	54.0	9.2	26.4	29.9	16.1	4.6	3.4	16.1		
	70歳代(n=103)	67.0	10.7	29.1	42.7	6.8	18.4	22.3	10.7	3.9	3.9	23.3		
	80歳代以上(n=42)	52.4	9.5	21.4	35.7	2.4	19.0	21.4	9.5	-	2.4	31.0		

5. 自由回答

問 30 その他、早島町の福祉活動や社会福祉協議会へのご意見やご要望、ご自身や地区の困りごとなどがありましたら、自由にご記入ください。

- ⊕ いきいきサロン、暮らしの応援カフェ、暮らしの応援団、ほっとけんネット・・・活動名称を聞いて、何を支援するのか不明。愛称名から、何を支援するのか理解できるのが望ましい。（-, 男性, 70 歳代）
- ⊕ 自治会から退会する高齢世帯が増えてきている。その人達が元気なうちは何も問題はないが、未来は分からない。その時、地域・隣近所の人とうまく対応出来るのか、今から問題です。介護や生活に類しての色々なことに生活苦にならない様を考えてほしいものです。相談出来る窓口等の設置などお願いしたい。（無津, 男性, 60 歳代）
- ⊕ アンケートを頂いたことで社会福祉協議会について、少しわかったこと（気づいたこと）がありました。普段何気なく見ていることが、福祉活動の一環であり、協議会が担っていたものだと感じました。ただ、役場と福祉協議会の区別がつかないことがまだまだあります。また、福祉活動の対象者が個々の活動によって違うのか、全町民が対象なのか、把握しきれていないことにも気がつきました。広範囲にわたり活動して頂き、ありがとうございます。今後も宜しくお願いします。（長津, 女性, 30 歳代）
- ⊕ 歩行者の安全のために、歩道確保、歩道整備して欲しい。自転車を使う方もたくさんいらっしゃるので、用水路の整備も進めて欲しい。安全な町づくりがもっと必要だと感じています。（弁財天, 男性, 40 歳代）
- ⊕ 福祉の方へお伝えする事ではない事かもしれず、すみませんが。①コミュニティバスの便数をもう少し増やしてほしい。②早島町内で済ます事のできる用が限られているので、せめて中庄、川大、マルナカあたりまで交通手段がほしい。③若宮・矢尾側に、スーパーマーケットの誘致希望。④現役世代が同居しているからでしょうか。町から、高齢者としての何も無いと感じる。⑤早島町の催事があっても、若宮・矢尾側から歩いて行けるはずがなく、下の町だけで行っているように思う。2号線から上はほったらかし？（若宮, 女性, 80 歳代以上）
- ⊕ 早く早島駅の階段をエスカレーターかエレベーターにして欲しい。大荷物の時大変だし、年寄りも昇り降りが大変で危ないから。（-, 女性, 50 歳代）
- ⊕ 今回のアンケートについて。細かな内容が多く、重なるような項目もあり、答える側にとっては苦痛。これを集計して本当に活かされるのだろうか。疑問に思う。もっとシンプルな内容にして欲しかった。（弁財天, 男性, 60 歳代）
- ⊕ 私は1人暮らしなので、台風の時、夜がととても不安です。その時、町の指定でなく、地区の公民館を使用させて頂けると助かります。高齢なので、雨や心配なんです。近所の人も近くなら付き合っ下さると言われます。いつも対応が出来ないので、駄目だと言われます。自分で全部用意は出来ます。すぐ近くなので、全部用意をして、早めに安全な時に行きます。一人夜を過ごすより何人かで話をしていると不安な気持ちがちがうと思います。地区の公民館を使える様、お願い致します。82歳1人暮らし女。（-, -, -）

- ⊕ 町の防犯強化してほしい。最近是不審者や殺人事件も多いので、防犯カメラ無さ過ぎるので、町の人を守るため、事故の多い所、水門の所、通学路に付けて欲しい。町民が安心して暮らせる町をお願いします。（弁財天，女性，40歳代）
- ⊕ 社協の方には大変お世話になっています。近くではあるし、皆さん親切丁寧で、感謝しています。老人の1人暮らしは何事起きるか分からない事が多々あります。自分が迷惑をかけないように、注意して生活しています。ころばん体操もよかったです。PM9時に床につくと、2時半から3時半頃目が覚めて寝られないのが困りますが、いつの間にか寝ています。（前潟，女性，80歳代以上）
- ⊕ 1人になって考えると、すべて自分自身がささえ。明るく生きるも暗く生きるも自分次第。がんばって命あるかぎり生きていきます。（-，女性，80歳代以上）
- ⊕ 町外からの転入で、当時酷い扱いを受けた為、関心がわからない。町内行事はできるだけ参加したくない。（前潟，男性，20歳代）
- ⊕ 町長、副町長が、町民に対してどの様な仕事をすれば良いのか、考え等が見えない。危機感が全然無い様に思われる。（-，男性，60歳代）
- ⊕ 年金生活の老後が不安。免許返納時からの行動（買物等）が不安。（備南台，男性，80歳代以上）
- ⊕ 私自身、現在不自由を感じた事はありませんが、今後自由がきかない時は、社会福祉活動が特に必要となります。今後、社会福祉について勉強していきたいと思います。（前潟，男性，70歳代）
- ⊕ まだまだ、社会福祉協議会という所が何をやる所で、どんな人がいるのか、知らない人が多いように思う。（浜，女性，30歳代）
- ⊕ 暮らしの応援団について具体的な事を知りたかったが、アンケート記入後に、中に入っていたものを読んだ。よくわかりました！！イトーピア団地でも”とくし丸”の車を見たことがあります、水・土コースにのっていない？（イトーピア，女性，70歳代）
- ⊕ 施設に入りたい。（-，女性，70歳代）
- ⊕ 裏山がきちんと管理されていないため、枯れた竹や木が住宅の方に倒れてきたり、張り出して枯れ葉やどんぐり等が大量に敷地に落ちてくるので困る。（市場，女性，60歳代）
- ⊕ ①困り事としてペット問題。問13で述べた近隣のヤギの他、飼い猫の糞害。公園（早島公園、つつじ公園）内で、犬のリードを外す人がいるので、犬の散歩の注意事項の看板を立ててほしい。②ゴミの自宅での焼却、野焼き。③町外からの自動車の通り抜けの増加⇒信号機を増やしてほしい。マルナカの前、トマト銀行の横、さつき荘の前。（塩地，女性，60歳代）
- ⊕ コミュニティバスの時間を充実してほしい。早島駅からバスの時間帯を増やしてほしい。学生も利用できる時間にも走ってほしい。長津の太田時計店の所の信号が設置されましたが、子供が駅まで出るのに、横断歩道が青でも車が止まってくれなくていつまでも渡ることができず、朝学校へ行くのに毎日困っています。結局赤になって渡るしかありません。どうにかしてほしい。これを書いた事で、何か改善される事を待っています。（天治組合，男性，50歳代）
- ⊕ 知らない情報ばかりでした。もっと関心を持つようにしますが、例えばボランティア活動などは、人の為になったと充実が得られることを、もっと知らせて欲しい。（市場，男性，40歳代）

- ⊕ 福祉活動に参加されている方が、地区内で偉い態度、言動をとっており、人材の育成に力を入れた方が良いと思う。暇な高齢者の集まりだけでは、何かとトラブルになると思う。（金田，女性，40歳代）
- ⊕ 気軽に皆が利用出来るように。（-，女性，60歳代）
- ⊕ 社会福祉協議会の方々、特にケアマネジャーの方、お世話になりました。ありがとうございました。（市場，女性，70歳代）
- ⊕ もう3年以上前に。町道が細くなっていて、2mほど直して貰えると。車が通りやすくなり、タクシーも気持ちよく入ってくれると言われる。町長選挙の時は、すぐ出来ますと言われたが、なんの連絡もなく。子供（小学生）も朝夕通る道です。落ちたらケガをします。一度見て下さい。待っています。（床田，女性，80歳代以上）
- ⊕ 福祉活動員になって、初めて福祉協議会の活動内容を知りました。子供の頃（自分が）からの町民ですが、知らないことも多いですね。仕事ばかりしてきたので、あまり関わりが無かったように思います。（小浜，女性，60歳代）
- ⊕ 目下のコロナ禍の正確な状況把握と対策を、重点的に取り組んで頂きたいと思います。政府や大手新聞、テレビ情報だけでなく、海外情報や政府外専門家情報等に注視し、視野を広くもって正しい情報の元での活動をお願いします。（-，女性，60歳代）
- ⊕ 今現在、自分に関係がない事や、興味がない事ばかりで、アンケートに答えましたが、よくわからない事が多かった。自分に関係する事が増えてくると、もう少し色々な事にも関わって（行事参加等）くるのかなと思います。いろんな活動が有る事を知りました。でもこれからはもう少し関心をもっていきたいと思いました。（前潟，女性，40歳代）
- ⊕ せっかくアンケート調査対象に選んで頂いたのですが、今まであまり福祉について考えていなかったもので、良い返事ができていません。これを機会に、年老いていく自分の先を考えてみたいと思いました。（弁財天，女性，60歳代）
- ⊕ 現在、充分手厚いと思います。（浜，女性，40歳代）
- ⊕ 真磯は東西共に団地入口は急な坂道であり、高齢になった時（身体不自由になった時）を考えると、足腰を強めることに努力するようにしている。（真磯台，男性，70歳代）
- ⊕ 特にありませんが、弱者に優しい早島町であってほしいと思っています。（前潟，女性，70歳代）
- ⊕ 若宮団地から国道2号線へ出たい時、朝7～9時頃までが混雑していて困る。無津交差点を倉敷方面に右折したくても、赤信号で矢印が出なければ曲がれない。にも拘わらず、赤信号で直進者も多く、スムーズにいかないときは右折が1台しか行けないときも！！（多く行けても5台程）矢印の出る時間をもう少し長くするだけでも何とかしてほしい。危険です。（若宮，男性，40歳代）
- ⊕ ①街灯が少なく、夜は怖い。②最近新しく早島町に引っ越しされている方々が、自治会に入っていないと近所の方から聞き、少し不信感を抱いている。近くに住んでいる人がどんな人かわからない。③家の周りをウォーキングしている方をよく見かけるようになった。運動をされるのは良い事だが、道路沿いでもない我が家の方まで来られると、怖い。早島町でウォーキングコースなどを考えて頂けないでしょうか。（金田，女性，20歳代）

-
- ⊕ 「わが町の暮らしの応援団」のリーフレットを見て、とてもありがたい取組だなあと感じました。将来、必要になったらお願いしたいです。また、退職したらお手伝いできることもあるのかなと思います。助け合いの町、早島にて安心して暮らせたらと思います。（舟本, 女性, 40 歳代）
-
- ⊕ 私は若宮団地に住んで 40 年以上になります。その頃から変わらないのは、犬猫（ペット）の糞放置と、たばこの吸い殻の投げ捨てなどです。人として最低限のマナーが守られていないのが現状です。すべての人がペットを飼い、たばこを吸うわけではありません。他人の「イタミ」が解ってもらえる人が増えてきてはじめて、「社会福祉」の充実が図れると思います。（若宮, 男性, 60 歳代）
-
- ⊕ 全然冷たいくせに、この様なアンケート、馬鹿々々しいね。人間も冷たいね。（頓行, 女性, 70 歳代）
-
- ⊕ 長津、渡辺忠義さん、佐藤智弘さんの畑の所の町道、道路ガタガタで草だらけ、歩いていても危ないので歩けません。何とかありませんか？（長津, 女性, 70 歳代）
-
- ⊕ 挨拶しても返してくれない年配の方もいるので、少し閉鎖的な町だなと感じる。（長津, 女性, 30 歳代）
-
- ⊕ 各自治体で種々活動が行われている。現在は元気で参加されている方、元気で無関心な方さまざまです。高齢化社会に向けて、皆の意識を高めつつ、楽しめることはないでしょうか。（日笠山, 女性, 70 歳代）
-
- ⊕ 社協の職員のボランティア丸投げが多いと聞いています！役場の福祉課と情報を共有して、活動にあたって下さい！（若宮, 男性, 70 歳代）
-
- ⊕ 先般、コロナウィルスに早島町民の方が感染したときに、地域住民からの誹謗中傷がかなりひどかったことをニュース等で知りました。そのことで余計に、早島町はとても閉鎖的な町だと実感し、ますます地域住民に個人情報を知らせたくないと思うようになりました。長年早島町に居住していますが、「ただ住所が早島町にあるだけ」の感覚です。今のところは地域の方を信用できないので、お世話になる予定はありません。（長津, 女性, 20 歳代）
-
- ⊕ 岡山市や総社市では、パートナーシップ制度が導入されているが、町内でそのような話があがる事も無い為、将来的に福祉サービスを受けたい希望がある以前に、このまま早島町で暮らすことが良いことなのかが分からない。社会福祉は、全ての人を対象にし、開かれたものであって欲しいと思う。（-, 女性, 40 歳代）
-
- ⊕ 災害発生後にボランティアセンターが社協に設置されるが、現状では県社協など上部団体や、近接する自治体からの応援なしで運営することは困難と考えています。大災害の場合には、他団体からの応援もあまり期待できないと考えます。町には自主防災組織連合会がありますが、社協もオブザーバーと参加すること、またボランティアセンターの設置訓練も、社協関係者で町内で実施することを望みます。（前潟, 男性, 60 歳代）
-
- ⊕ 町内会が若い人が少なく、なかなか昔の様に活動する事が難しくなっている。（中組北, 男性, 70 歳代）
-
- ⊕ 深砂公園東側の、サンゲツと畑？の所の雑草が伸び放題で、視界も悪くなり車体にもあたるので、とても迷惑しています。特に、畑の所有者には、厳しく指導してください。以前、事故に遭いました。（イトーピア, 女性, 40 歳代）

-
- ⊕ 仕事の関係で、なかなか参加できなくて申し訳なく思っています。自分が参加していないので、なかなか理解ができていません。仕事辞めたら参加したいと思います。活動していただいている方には、感謝しかありません。（真磯台、女性、60歳代）
-
- ⊕ 早島町内でデイケアから老人ホームまでの一連の福祉施設を早急に整えていただきたい。他地域（岡山・倉敷）へ行かなくて良いようにして下さい。安心して老後を送れるようお願いしたい。（若宮、男性、50歳代）
-
- ⊕ 早島町営住宅に住んでいる人を調べていますか？福祉というなら、本当にそこにしか住めない人を優先するべきだと思います。家族1人働いて2台の車が買える人が入る必要ありますか？国民年金でお金に困っている方、母子家庭、父子家庭でも大変な人、年寄り、ひとり親家庭、障がい者（家族がしっかりしていたらNG）を優先して欲しい。障がい者でも、家族の所得と本人の障害者手当がある人に、町営住宅がいますか？よく調べてください。（早島、女性、30歳代）
-
- ⊕ アンケート調査、用紙をシンプルにして下さい。（若宮、男性、40歳代）
-
- ⊕ 保育園の待機児童問題。（若宮、女性、30歳代）
-
- ⊕ 一定規模の団地やコミュニティが構成されるエリアが出来る場合、地元自治会に任せることなく、行政（協議会等）が積極的に新しい住民に対し、指導・教育すべきだと考えます。（金田、男性、50歳代）
-
- ⊕ 金田地区に郵便ポストがない。このアンケートも「最寄りのポストへ投函」とあるが、無作為に抽出された方に高齢者もいるはずで、困っている方も必ずいると思う。早急に設置対応をお願いします。（金田、男性、40歳代）
-
- ⊕ 幼少期からの奉仕活動や様々な体験活動を、学校教育（小・中・高・大学）の授業の中に組み込むことで、自らが社会の一員であることを実感し、思いやりのある社会性をもった人間の成長へとつながっていくのではと考えます。（自己中心的な考え方を持つ人が少なくなるのではないかと考えます。）授業は、教職員だけではなく、企業・民間人も積極的に指導者として協力してもらおう。時には子供達の親にも参加してもらおうことで、（子供達を含めた）若い世代の自発的、自立的な行動や活動を行う原動力になることが期待できると思います。（中山団地、女性、50歳代）
-
- ⊕ コロナでコミュニティに関わる事なく、現状でも積極的に関わる気もありません。近所の方も挨拶程度なので、困ってるかもわかりません。早く落ち着いて、いろいろやってる早島の行事に参加できる日を楽しみにしています。（宮崎、女性、40歳代）
-
- ⊕ 早島町は、高齢者や障がいのある方にはとても優しいと思いますが、子育て世代には・・・。例えば新生児や幼児がいる家庭にとって、ゴミ出し、買い物など大変なことはたくさんあります。すぐそこへゴミ出しに行くだけでも、家に子どもを置いていけず、困っている家庭がたくさんあります。「わが町の暮らしの応援団」とても素晴らしい活動だと思うので、子育て世帯も助けてほしいです。今どんどん早島町に増えている若い子育て中の人たちにも目を向けてください。お願いします。（長津、女性、30歳代）
-
- ⊕ 高齢者だけに重点を置きがちにならず、子育て世帯にももっと力を入れた方が、良い町づくりが出来ると思う。（塩津、男性、60歳代）
-
- ⊕ 他の市町村に比べ、福祉が薄いと感じました。以前家族が障がい者になった時、「早島ではその制度はないんです。」と言われた事が多々あり、情けない思いをした事があります。今は改善されているのかもしれませんが。（若宮、女性、70歳代）

⊕ 今のところ困り事はなく生活していますが、先に自分が身体不自由になった時、相談するようになると思います。その時はよろしくお願いします。（日笠山, 男性, 80 歳代以上）
